

令和6年度
吉野町住民アンケート
結果報告書

2024年11月

FOR DISCUSSION
DRAFT
PURPOSES ONLY

< 目次 >

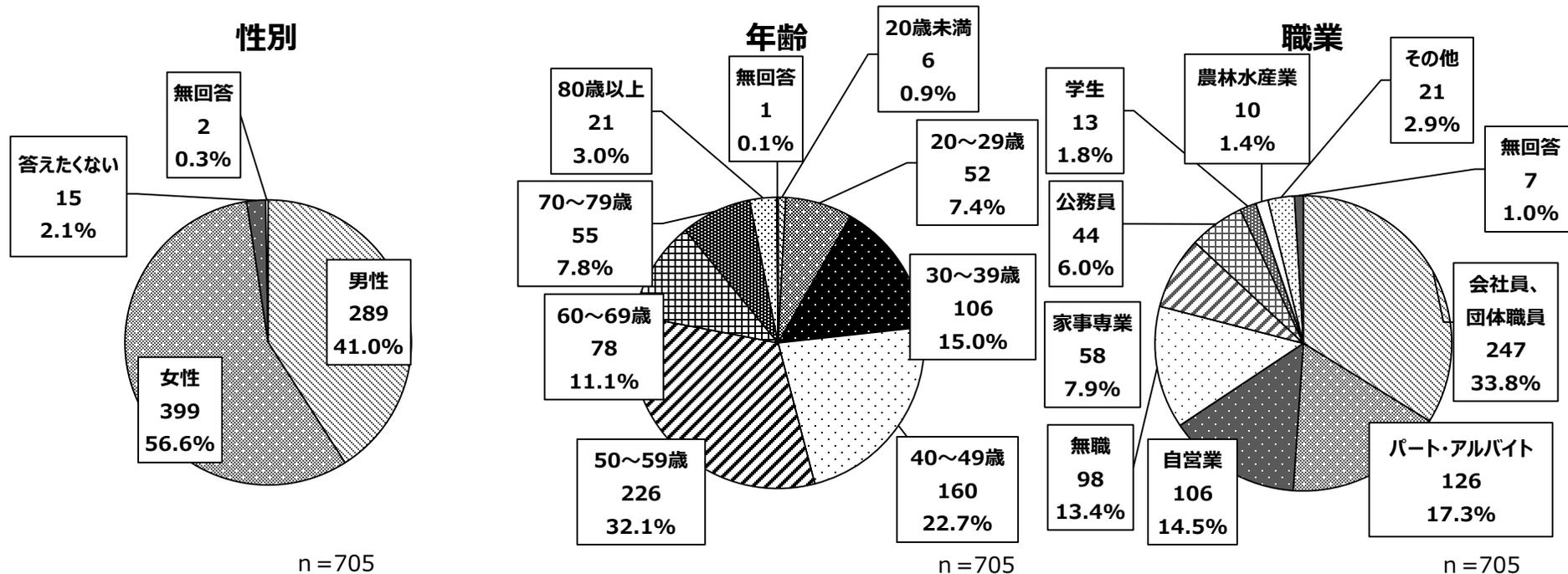
1.調査概要	2
2.回答者の属性	3
3.吉野町の住みやすさ	7
4.各施策の満足度	9
5.各施策の重要度	10
6.各施策の満足度と重要度	11
7.町民の日常生活	13
8.地域のイベントや活動	25
9.吉野町のまちづくり	31
10.行政の評価	47
11.今後のまちづくりに関するご意見等	55

1.調査概要

項目	内容
① 調査期間	● 令和6年8月1日（木）～8月26日（月）
② 調査対象	● 18歳以上の町民2,000人
③ 調査方法	● 郵送方式：調査票を郵送で配布し、郵送で回収 ● インターネット方式：アンケート用紙（冊子）の表紙の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームで回答
④ 調査結果の活用	● 「第5次吉野町総合計画（前期計画）」に掲げる施策や事業についての評価 ● 「第5次吉野町総合計画（後期計画）」の策定の資料として活用
⑤ 留意点	● 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ● 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。 ● 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。 ● 「前回調査」は令和元年9月に実施した総合計画策定のためのアンケート結果です。 ● 「令和3年度調査」は令和3年4月に実施した指標設定アンケート結果です。
⑥ 回収率	● 35.3%（=（回答者705件÷（抽出数2,000件）×100）

2.回答者の属性

設問文：あなたの性別、年齢、職業をお聞かせください。



性別の結果

- 回答者の性別は、「男性」が41.0%、「女性」が56.6%とやや女性が多い結果となっております。

年齢の結果

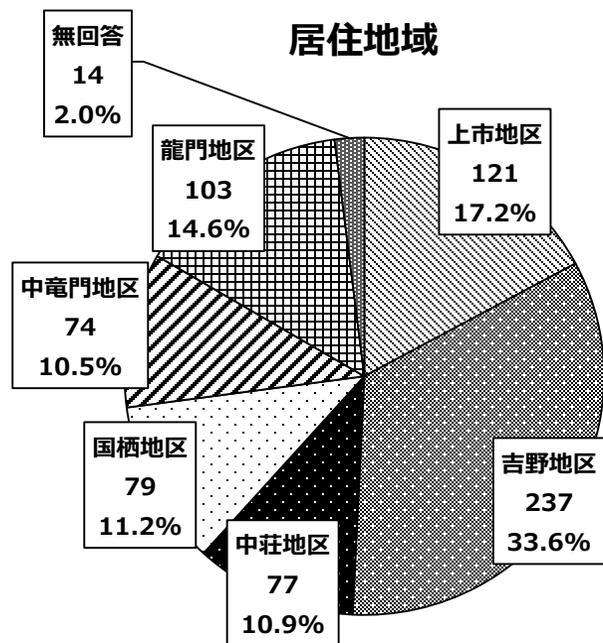
- 回答者の年齢は、「50～59歳」が32.1%、「40～49歳」が22.7%となっており、50代の割合が最も高くなっています。

職業の結果

- 回答者の職業は、「会社員、団体職員」が33.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が17.3%、「自営業」が14.5%などとなっています。

2.回答者の属性

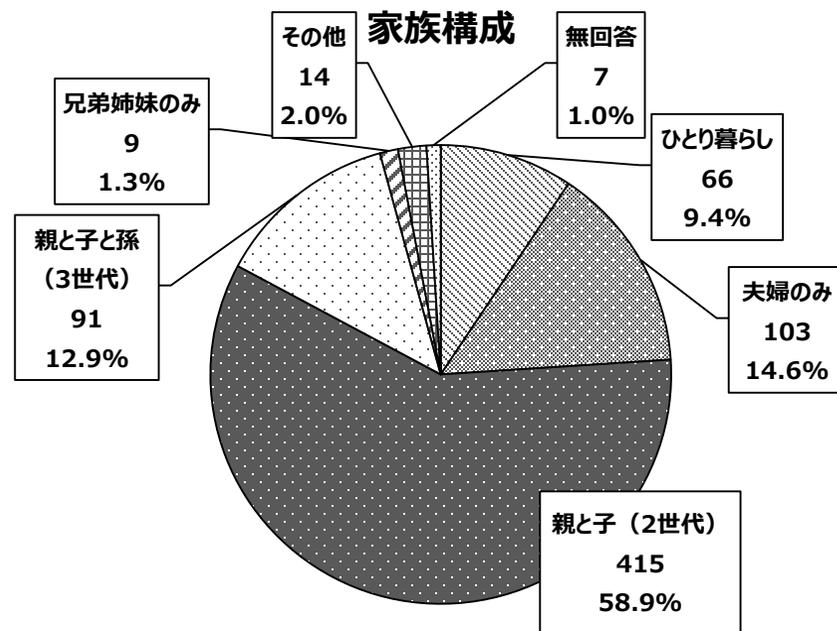
設問文：あなたのお住まいの地区、家族構成（世帯）をお聞かせください。



n = 705

居住地の結果

- 回答者の居住地は、「吉野地区」が33.6%、「上市地区」が17.2%となっており、吉野地区居住者が最も高い割合となっています。



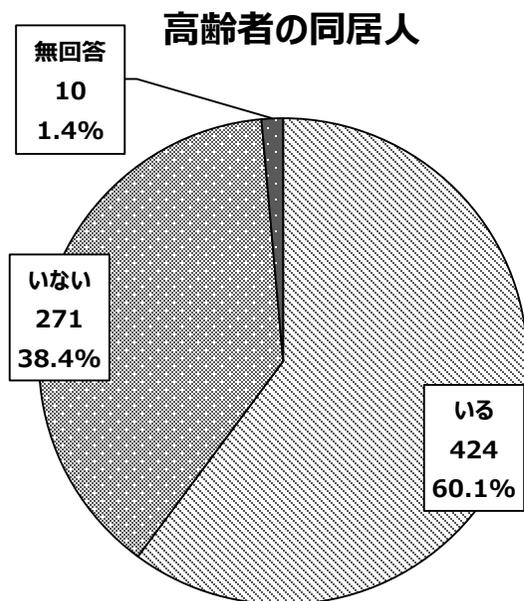
n = 705

家族構成の結果

- 回答者の家族構成は、「親と子 (2世代)」が58.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が14.6%、「親と子と孫 (3世代)」が12.9%などとなっています。

2.回答者の属性

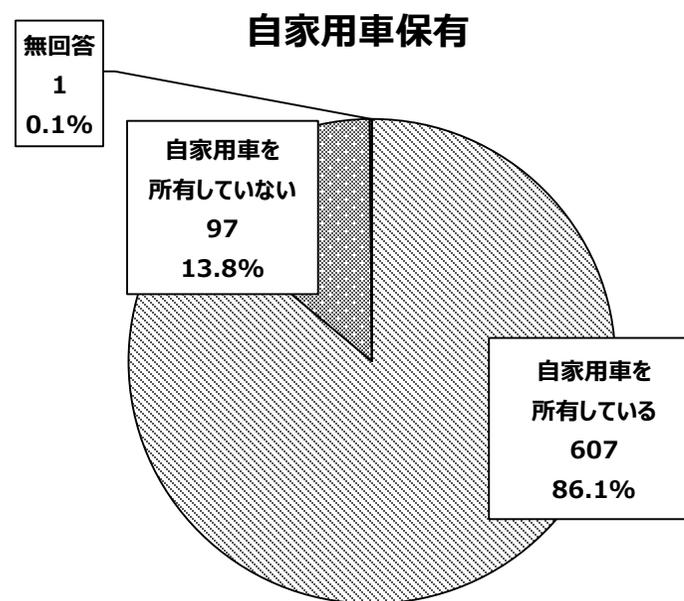
設問文：あなた以外に65歳以上の高齢者の同居人はいますか。
あなたは自家用車を所有していますか。



n = 705

高齢者の同居人の結果

- 高齢者の同居人を調査した結果、「いる」が60.1%、「いない」が38.4%となっています。



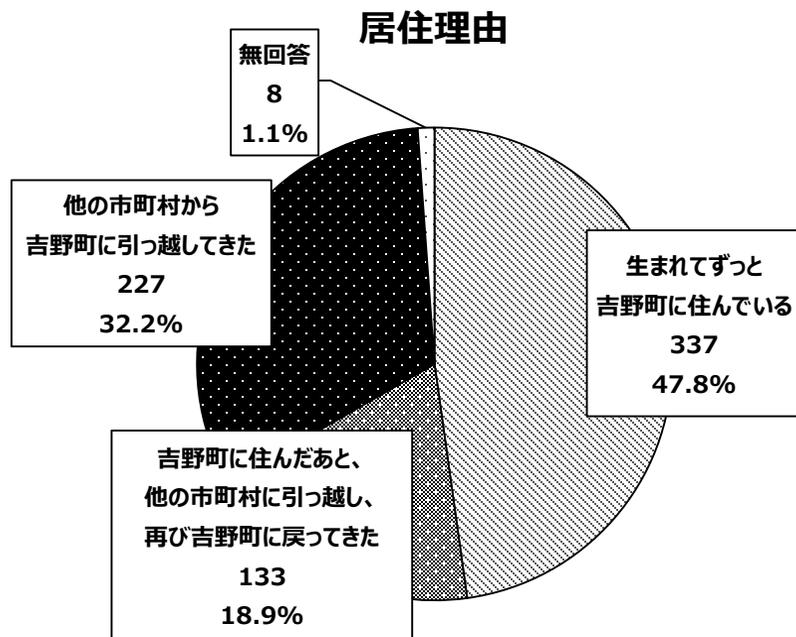
n = 705

自家用車保有の結果

- 自家用車保有を調査した結果、「所有している」が86.1%、「所有していない」が13.8%となっており、8割以上の回答者が自家用車を保有しています。

2.回答者の属性

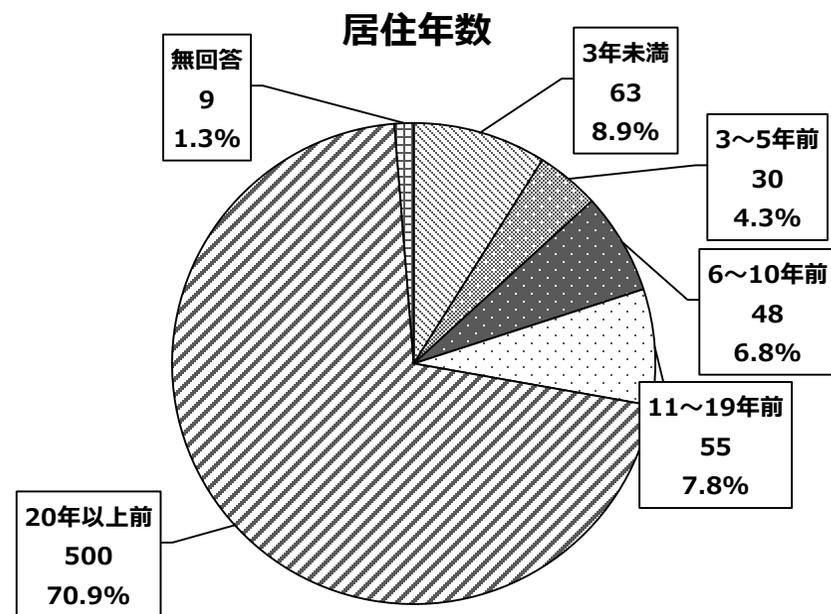
設問文：吉野町にお住まいになった経緯を選んでください。
吉野町には、いつごろから住んでおられるかお聞かせください。



n = 705

居住理由の結果

- 居住理由について調査した結果、「生まれてずっと吉野町に住んでいる」が47.8%、「他の市町村から吉野町に引っ越してきた」が32.2%「再び吉野町に戻ってきた」が18.9%、となっており、生まれてからずっと吉野町に住んでいる人が全体の約5割と最も高い割合となっています。



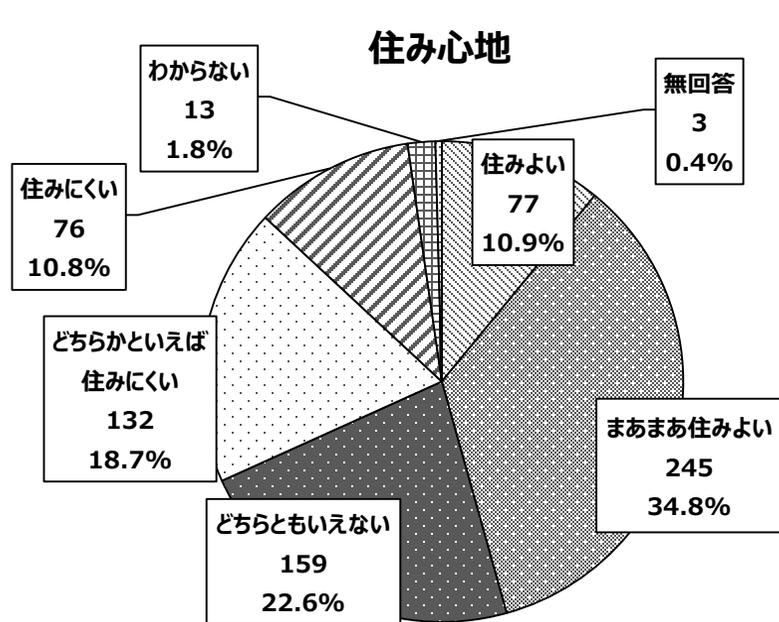
n = 705

居住年数の結果

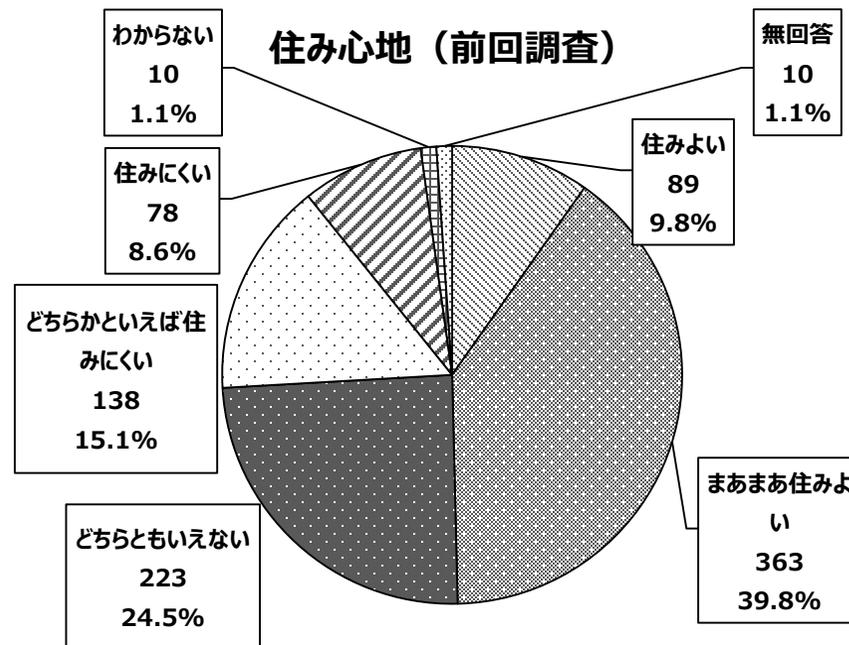
- 居住年数について調査した結果、「20年以上前」が70.9%で全体の7割以上と最も高い割合となっています。また、「3年未満」が8.9%と「20年以上前」に次いで高くなっています。

3. 吉野町の住みやすさ

設問文：あなたは、今の住み心地についてどう思いますか。



n = 705



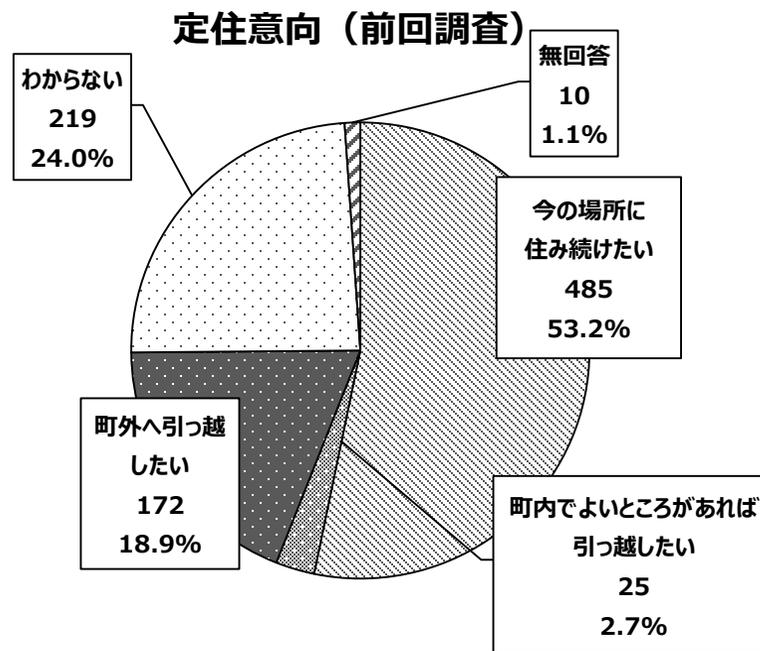
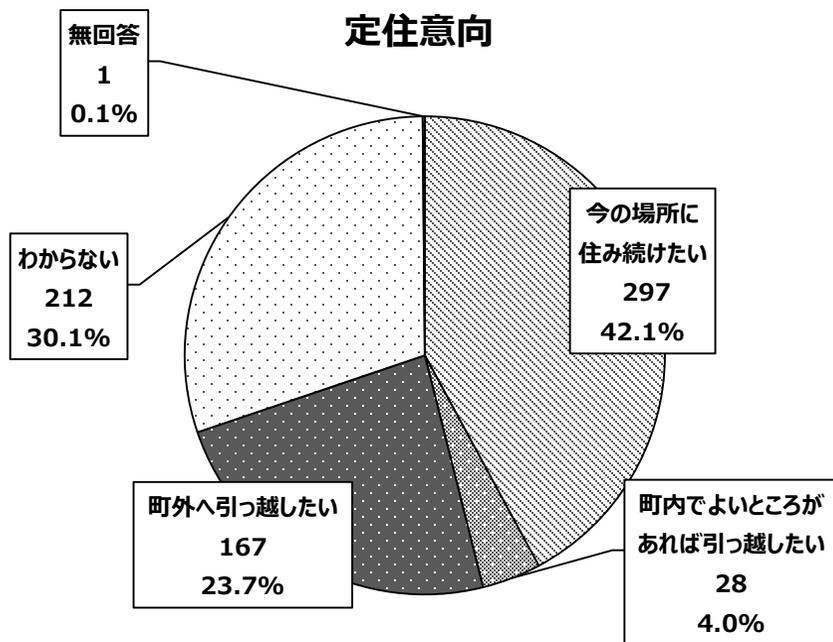
n = 911

住み心地の結果

- 住み心地について調査した結果、「住みよい」が10.9%、「まあまあ住みよい」が34.8% となっており、全体の4割以上が住みやすいと回答しています。
- 前回調査と比べると、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」はほぼ同割合となっています。

3. 吉野町の住みやすさ

設問文：これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。

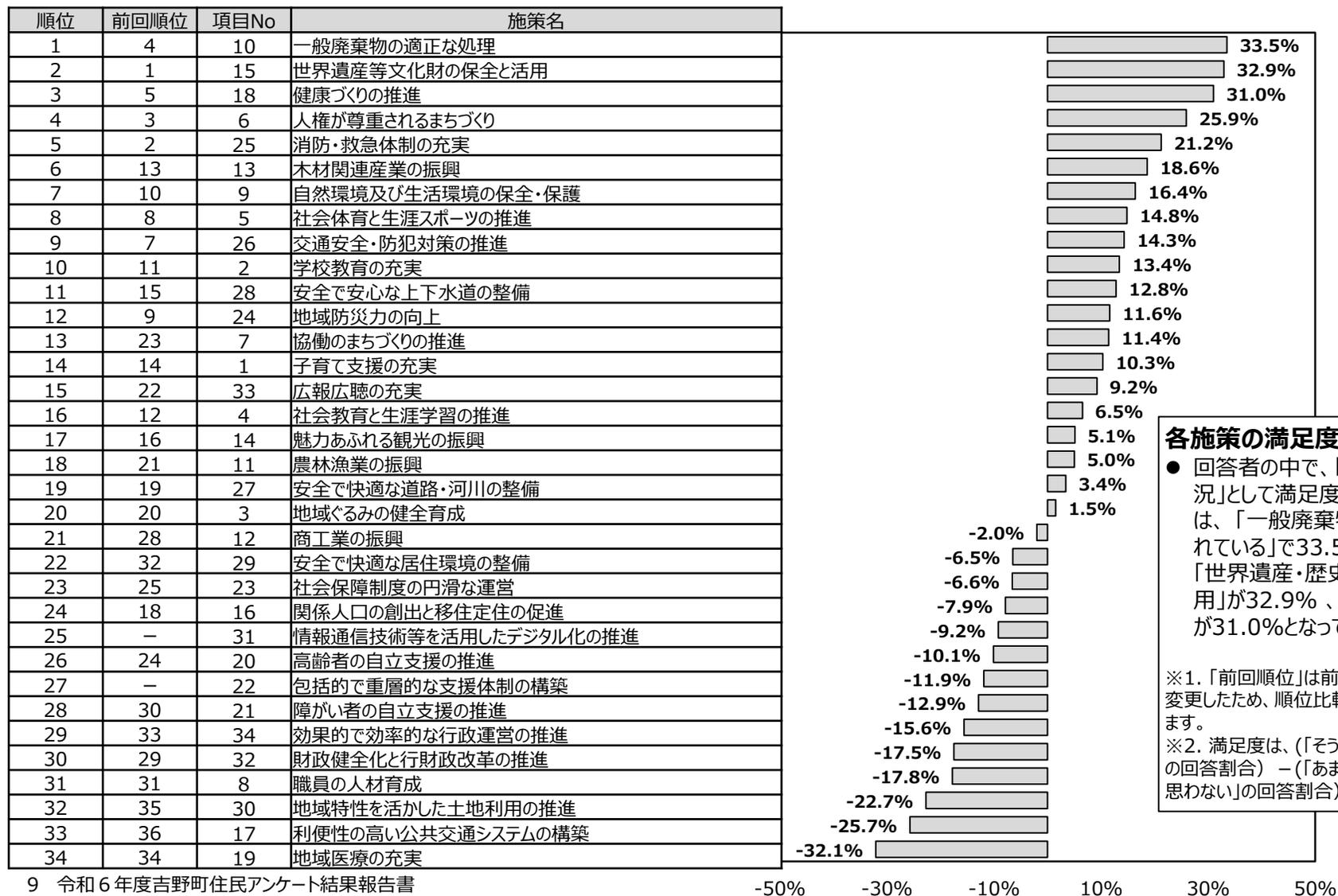


定住意向の結果

- 定住意向について調査した結果、「今の場所に住み続けたい」が42.1%、「町内でよいところがあれば引っ越したい」が4.0% となっており、全体の4割以上が住み続けたいと回答しています。
- 前回調査と比べて、「今の場所に住み続けたい」が10%以上低くなっており、「町外へ引っ越したい」が約5%高くなっています。

4.各施策の満足度

設問文：下記の34項目について、「今の吉野町の状況」としてあてはまるものを選んでください。



各施策の満足度の結果

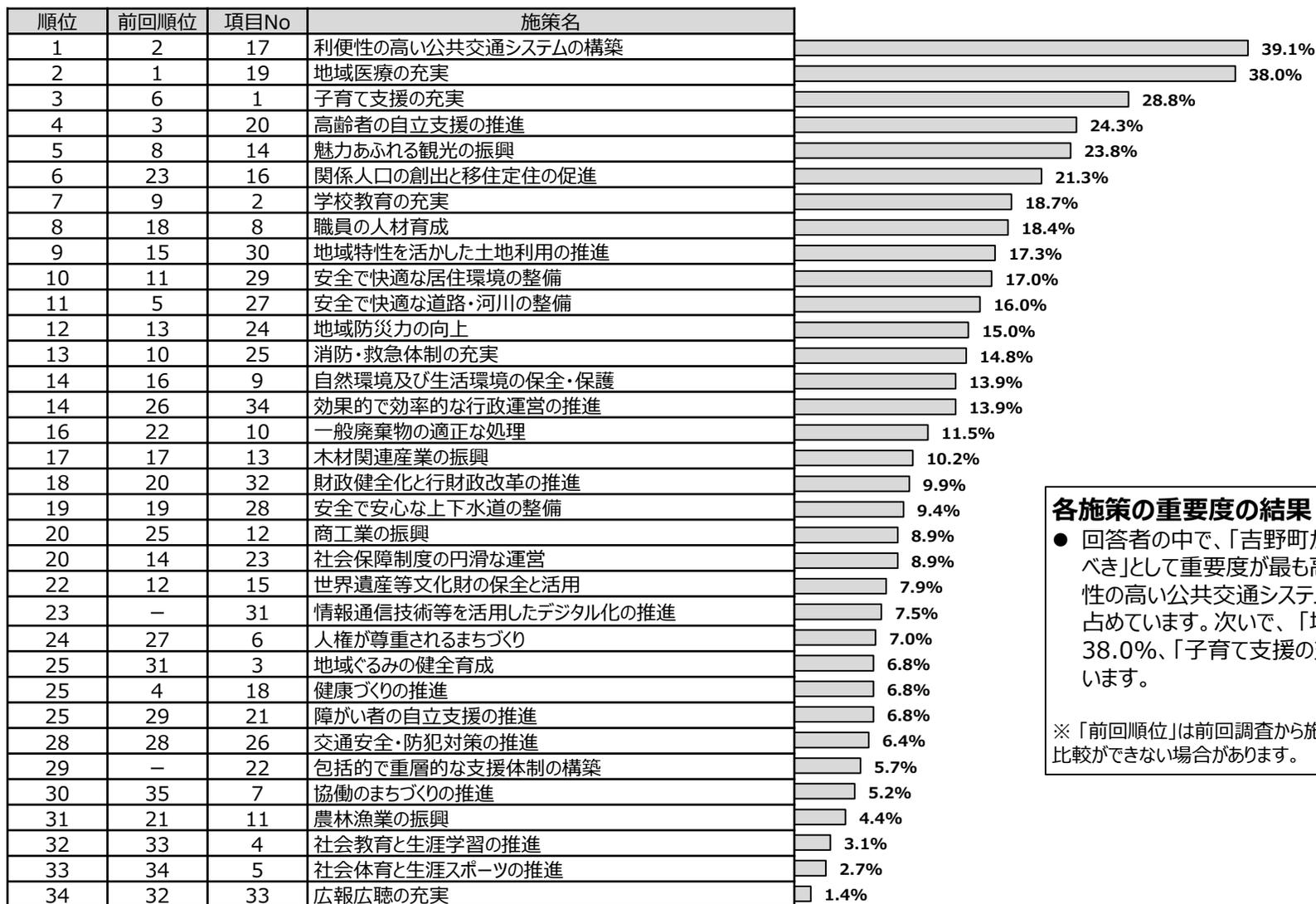
- 回答者の中で、「今の吉野町の状況」として満足度が最も高かったものは、「一般廃棄物が適正に処理されている」で33.5%です。次いで、「世界遺産・歴史文化の保全と活用」が32.9%、「健康づくりの推進」が31.0%となっています。

※1. 「前回順位」は前回調査から施策名を変更したため、順位比較ができない場合があります。

※2. 満足度は、「(「そう思う」+「まあそう思う」の回答割合) - (「あまりそう思わない」+「そう思わない」の回答割合)」で算出しています。

5.各施策の重要度

設問文：「吉野町が今後重点的に取り組むべき」と思う事項を3つまで選んでください。



各施策の重要度の結果

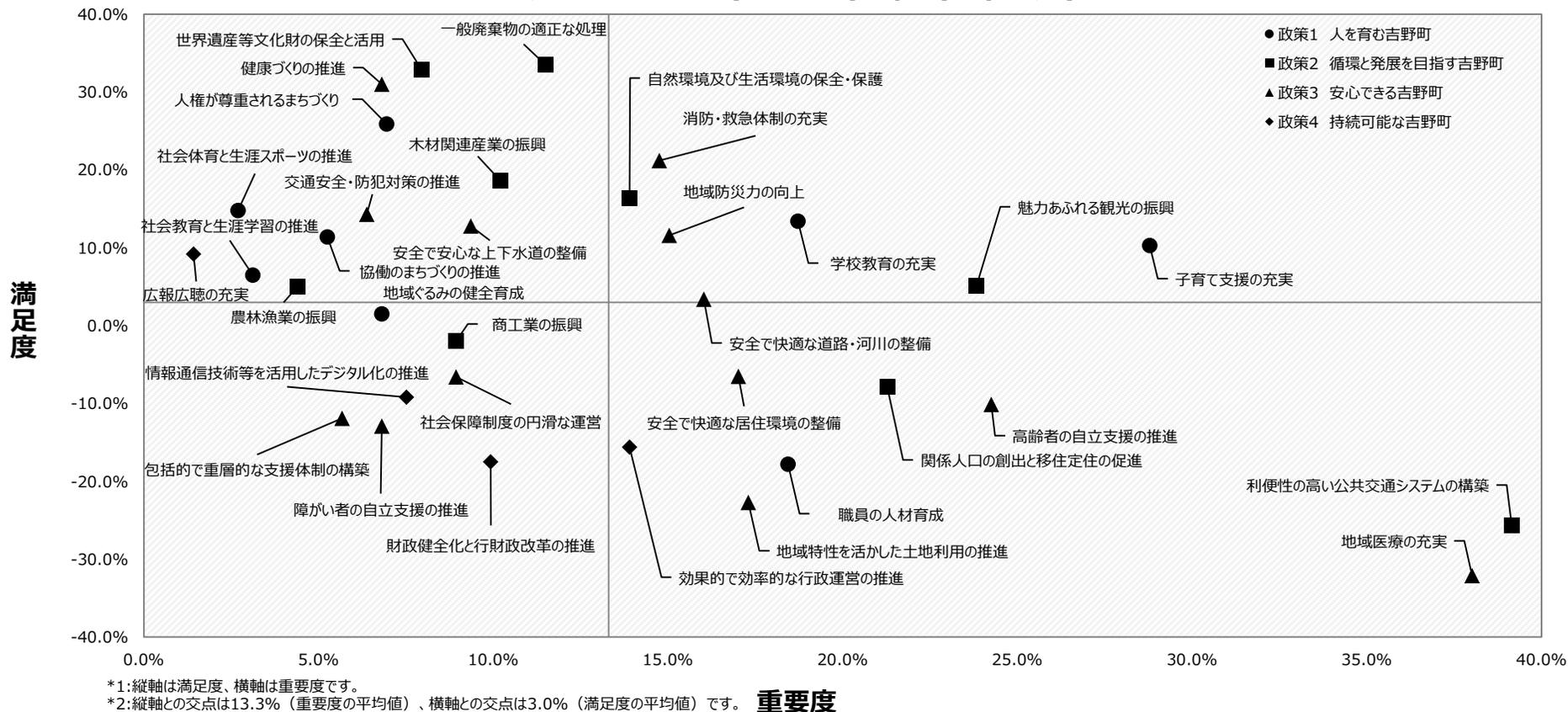
- 回答者の中で、「吉野町が今後重点的に取り組むべき」として重要度が最も高かった項目は、「利便性の高い公共交通システムの構築」で、39.1%を占めています。次いで、「地域医療の充実」が38.0%、「子育て支援の充実」が28.8%となっています。

※「前回順位」は前回調査から施策名を変更したため、順位比較ができない場合があります。

6.各施策の満足度と重要度（4象限分析）

設問文：「今の吉野町の状況」としてあてはまるものを選んでください。
 「吉野町が今後重点的に取り組むべき」と思う事項を3つまでを選んでください。

満足度と重要度（2024（令和6）年実施）



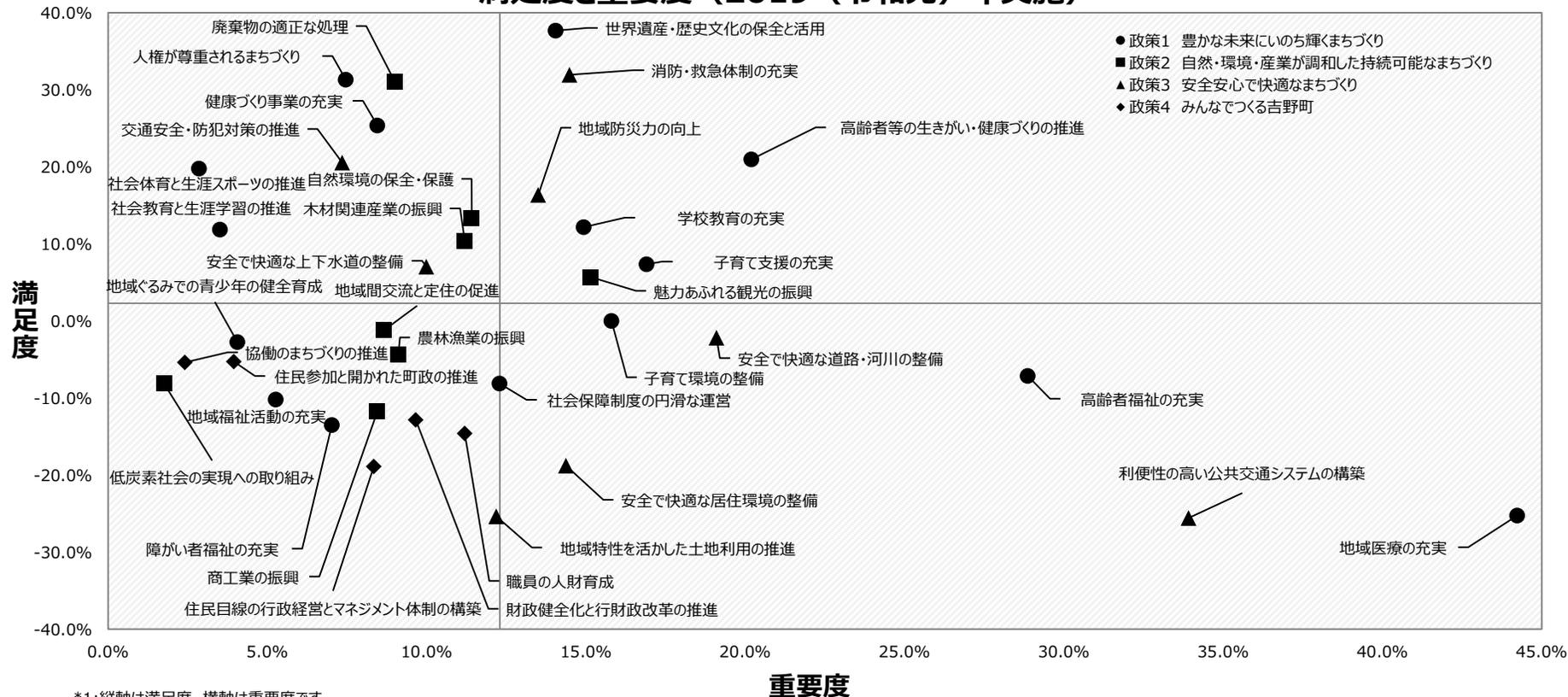
今回の各施策の満足度・重要度の結果

- 吉野町の取組の満足度・重要度の結果を4象限で整理すると、34の取組のうち、重要度が高く、満足度が低い強化すべき取組として、「利便性の高い交通システムの構築」「地域医療の充実」「高齢者の自立支援の推進」「関係人口の創出と移住定住の促進」などの8つの取組が該当しています。

6.各施策の満足度と重要度（4象限分析）

設問文：「今の吉野町の状況」としてあてはまるものを選んでください。
 「吉野町が今後重点的に取り組むべき」と思う事項を3つまでを選んでください。

満足度と重要度（2019（令和元）年実施）

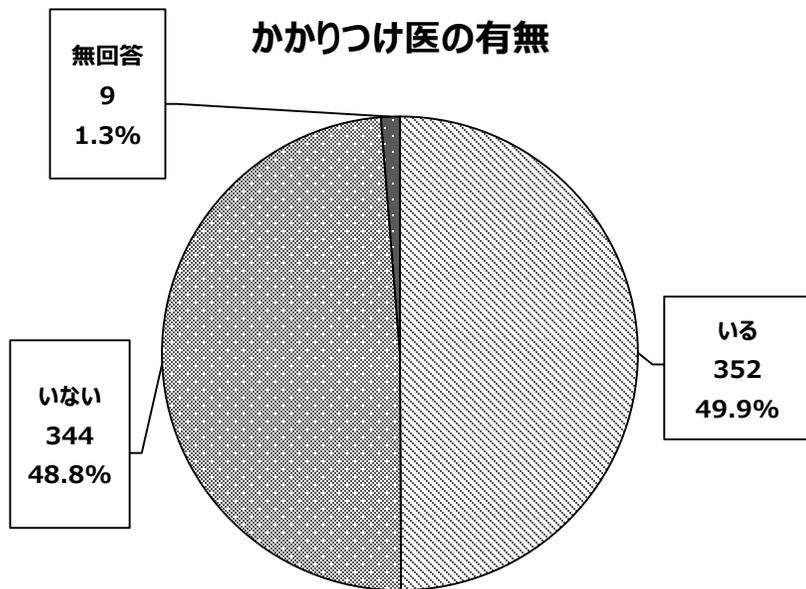


前回の各施策の満足度・重要度の結果

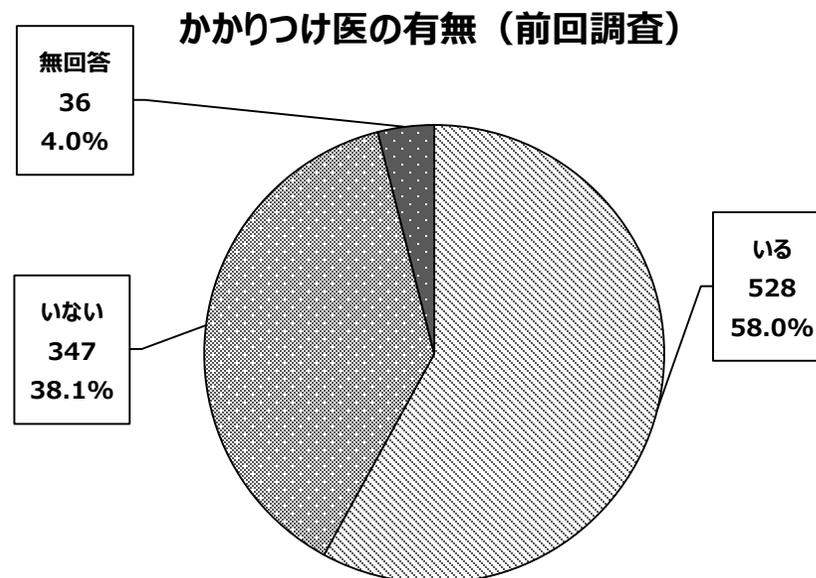
- 前回調査の結果が上記のとおりであり、前回調査と比べて「子育て支援の充実」の重要度が高まっています。また、「一般廃棄物の適正な処理」や「木材関連産業の振興」の満足度が高まっています。

7.町民の日常生活

設問文：かかりつけ医を持っていますか。



n = 705



n = 911

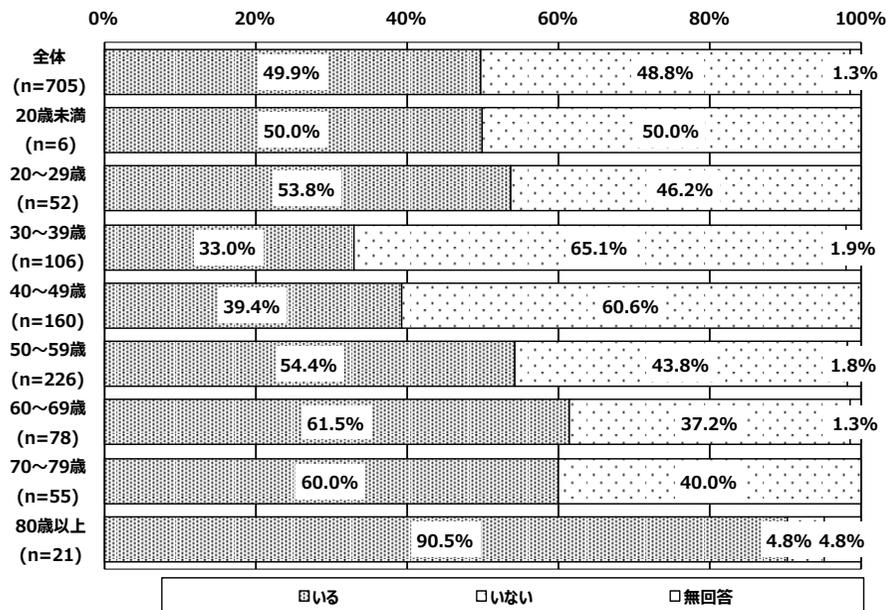
かかりつけ医の有無の結果

- かかりつけ医の有無を調査した結果、「いる」が49.9%、「いない」が48.8%となっています。
- 前回調査と比べて、「いない」の割合は約10%高くなっています。

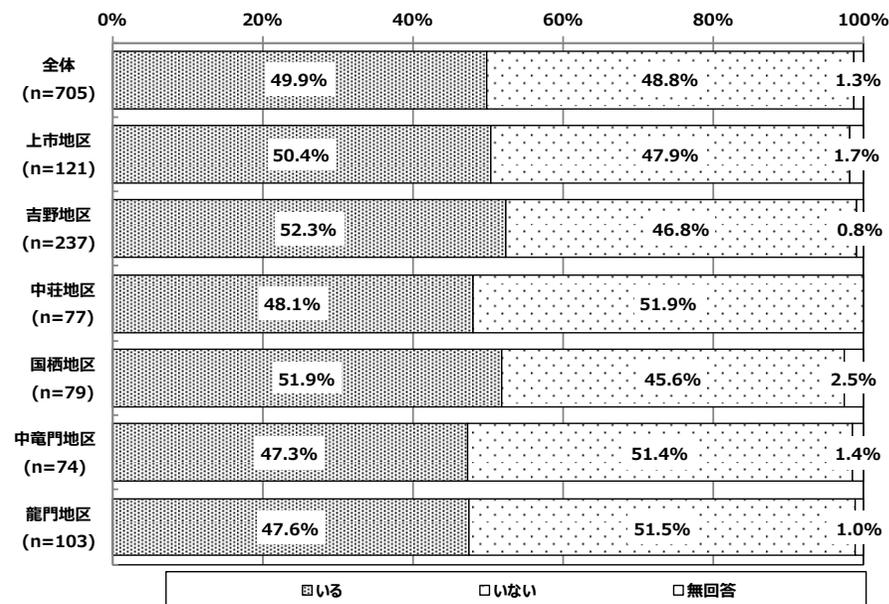
7.町民の日常生活

設問文：かかりつけ医を持っていますか。

かかりつけ医の有無（年齢別）



かかりつけ医の有無（居住地別）

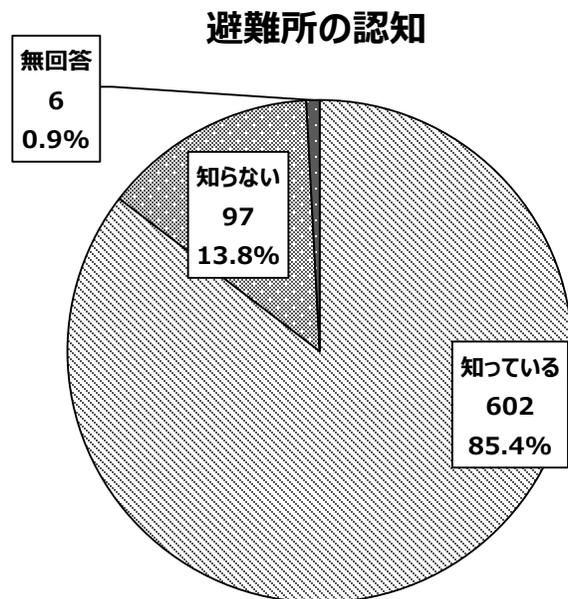


かかりつけ医の有無の結果（属性別）

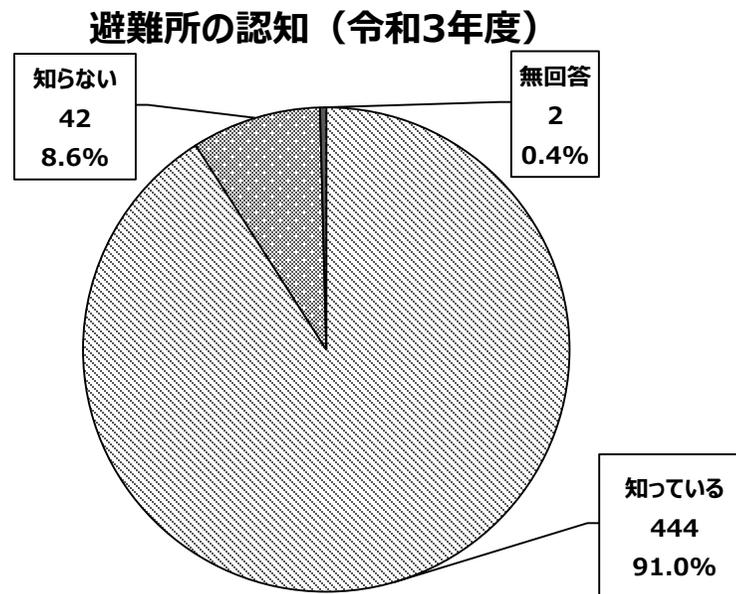
- 年代別にみると、「いる」と回答した年代は、80代以上が90.5%と最も多く、次いで60代が61.5%、70代が60.0%となっています。一方で、「いない」と回答した割合は、30代が65.1%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「いる」と回答した地域は、吉野地区が52.3%と最も多く、次いで国栖地区が51.9%となっています。一方で、「いない」と回答した割合は、中荘地区が51.9%と最も多くなっています。

7.町民の日常生活

設問文：ご自宅の地域の避難所（公共施設）を知っていますか。



n = 705



n = 488

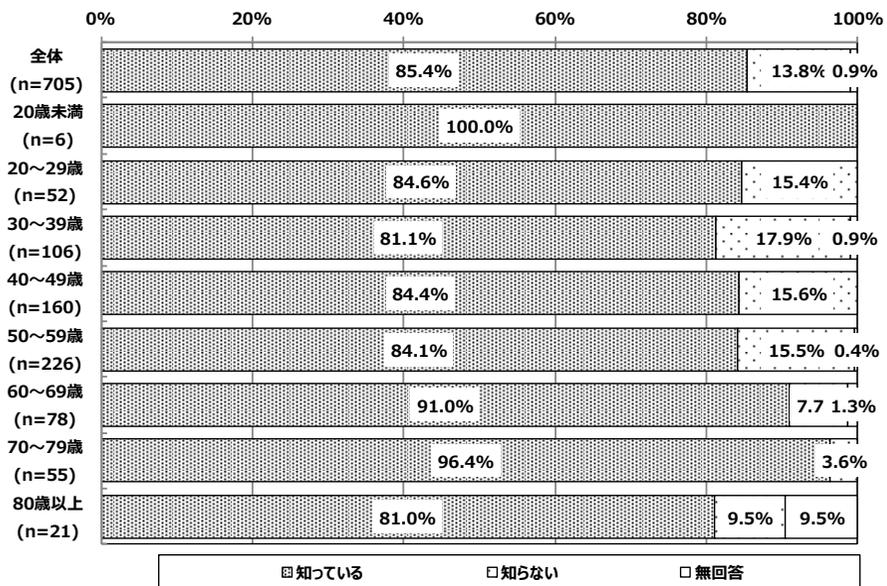
避難所の認知の結果

- 避難所の認知を調査した結果、「知っている」が85.4%、「知らない」が13.8%となっています。
- 前回調査と比べて、「知っている」は約5%低くなっています。

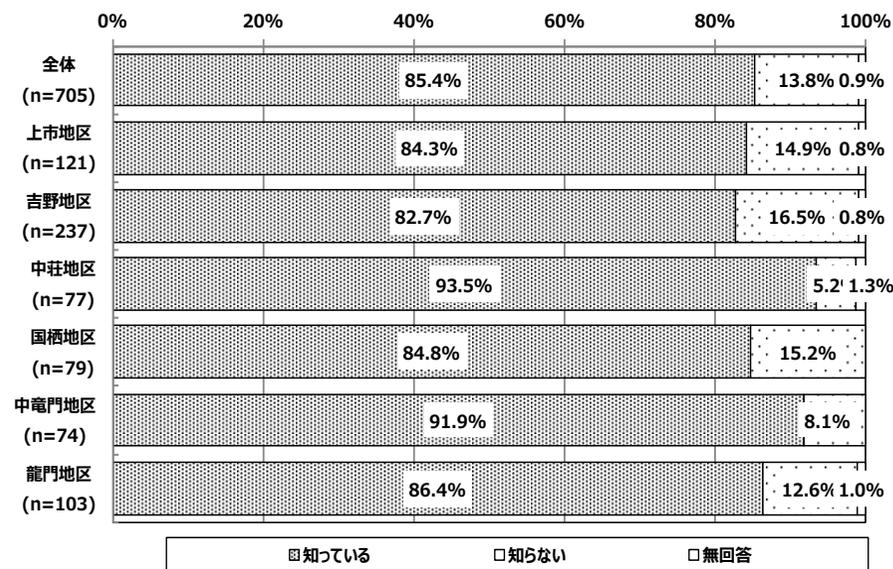
7.町民の日常生活

設問文：ご自宅の地域の避難所（公共施設）を知っていますか。

避難所の認知（年齢別）



避難所の認知（居住地別）



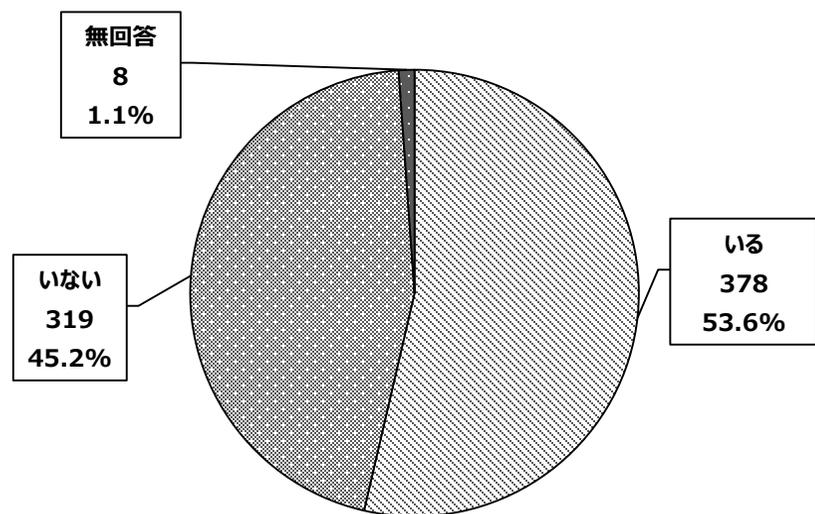
避難所の認知の結果（属性別）

- 年代別にみると、「知っている」と回答した年代は、20歳未満が100%と最も多く、次いで70代が96.4%、60代が91.0%となっています。一方で、「知らない」と回答した割合は、30代が17.9%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「知っている」と回答した地域は、中荘地区が93.5%と最も多く、次いで中竜門地区が91.9%、龍門地区が86.4%となっています。一方で、「知らない」と回答した割合は、吉野地区が16.5%と最も多くなっています。

7.町民の日常生活

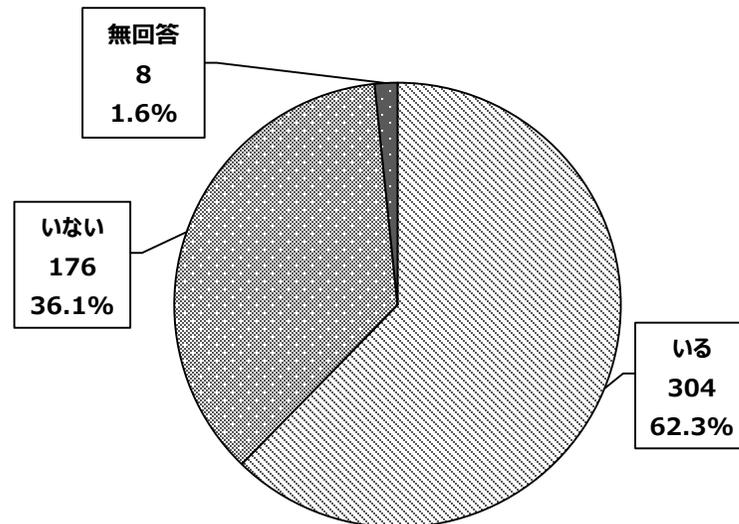
設問文：犯罪被害に遭いそうになった時の相談先がありますか。

犯罪被害時の相談先の有無



n = 705

犯罪被害時の相談先の有無（令和3年度）



n = 488

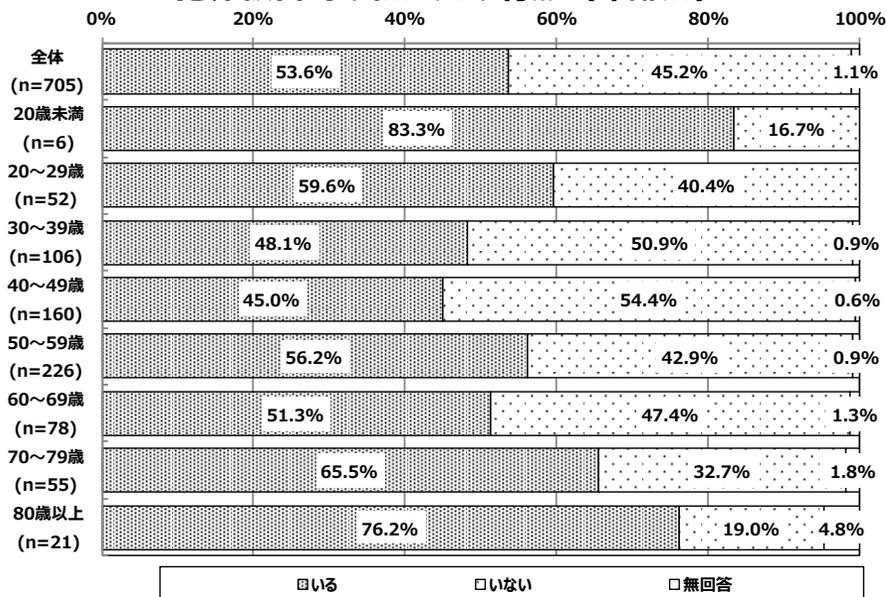
犯罪被害時の相談先の有無の結果

- 犯罪被害時の相談先の有無の結果、「いる」が53.6%、「いない」が45.2%となっています。
- 前回調査と比べて、「いる」が約9%下がっており、「いない」が約9%高くなっています。

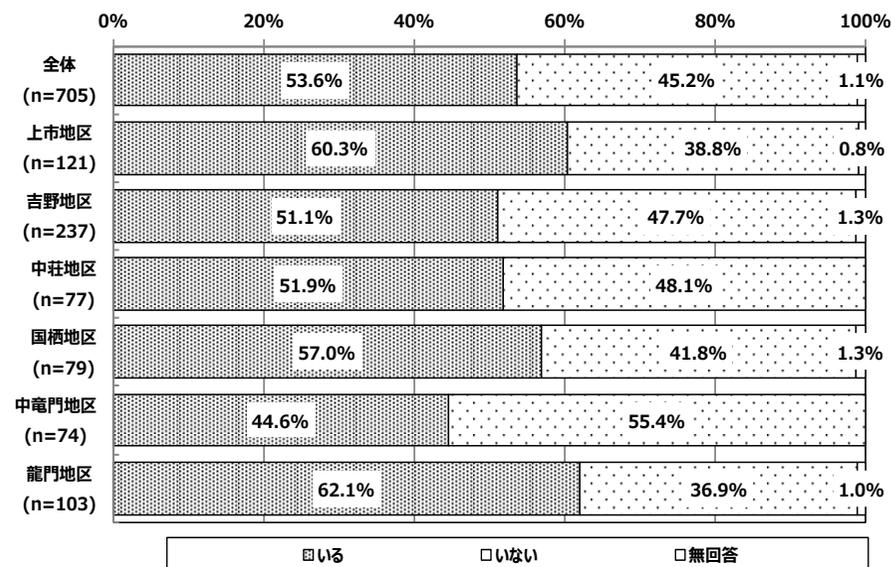
7.町民の日常生活

設問文：犯罪被害に遭いそうになった時の相談先がありますか。

犯罪被害時の相談先の有無（年齢別）



犯罪被害時の相談先の有無（居住地別）

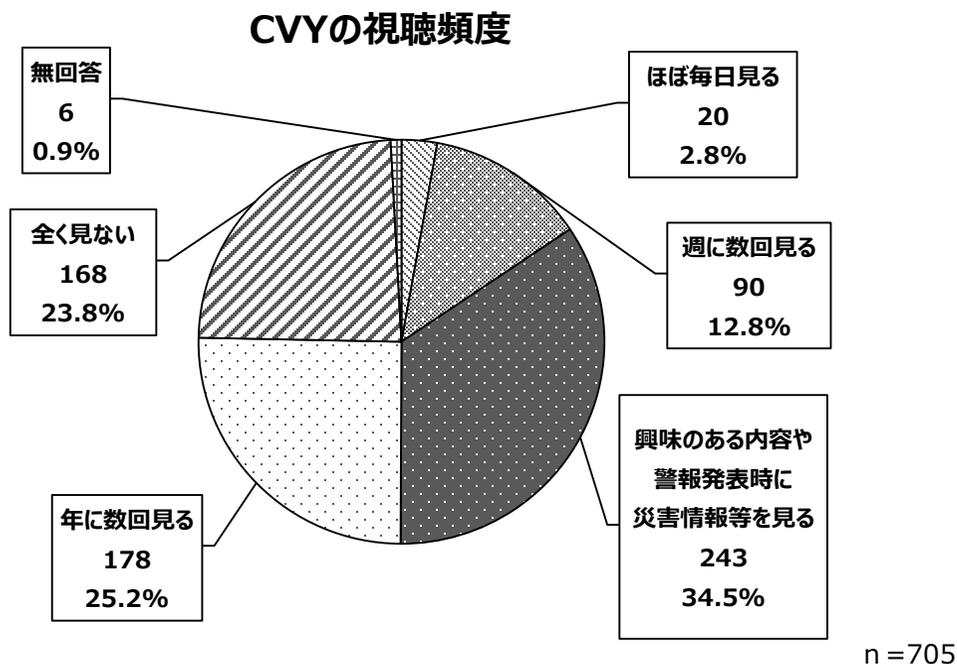


犯罪被害時の相談先の有無の結果（属性別）

- 年代別にみると、「いる」と回答した年代は、20歳未満が83.3%と最も多く、次いで80代以上が76.2%、70代が65.5%となっています。一方で、「いない」と回答した割合は、40代が54.4%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「いる」と回答した地域は、龍門地区が62.1%と最も多く、次いで上市地区が60.3%、国栖地区が57.0%となっています。一方で、「いない」と回答した割合は、中竜門地区が55.4%と最も多くなっています。

7.町民の日常生活

設問文：CVY（11チャンネル）のテレビ放送をどのくらいの頻度で視聴していますか。

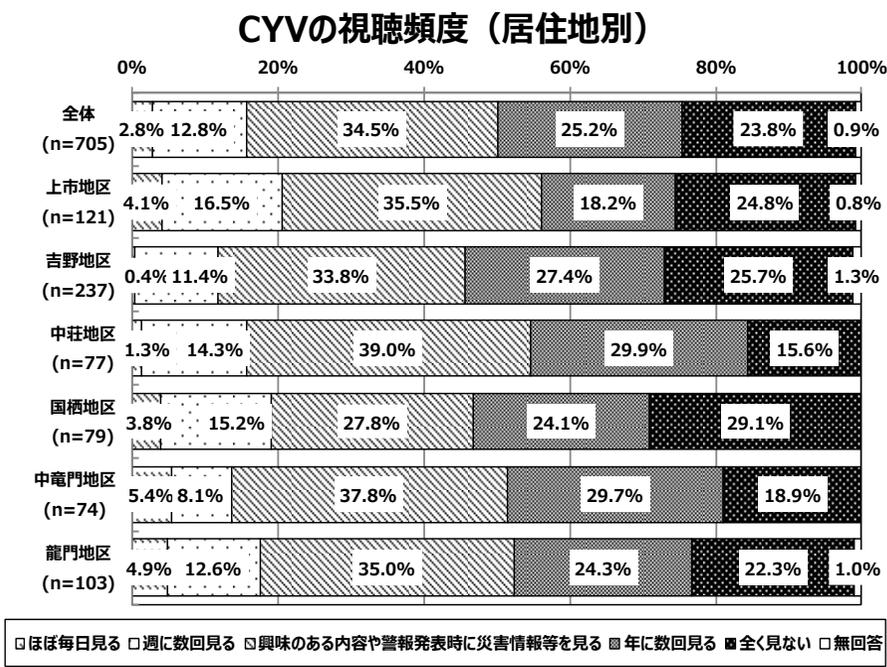
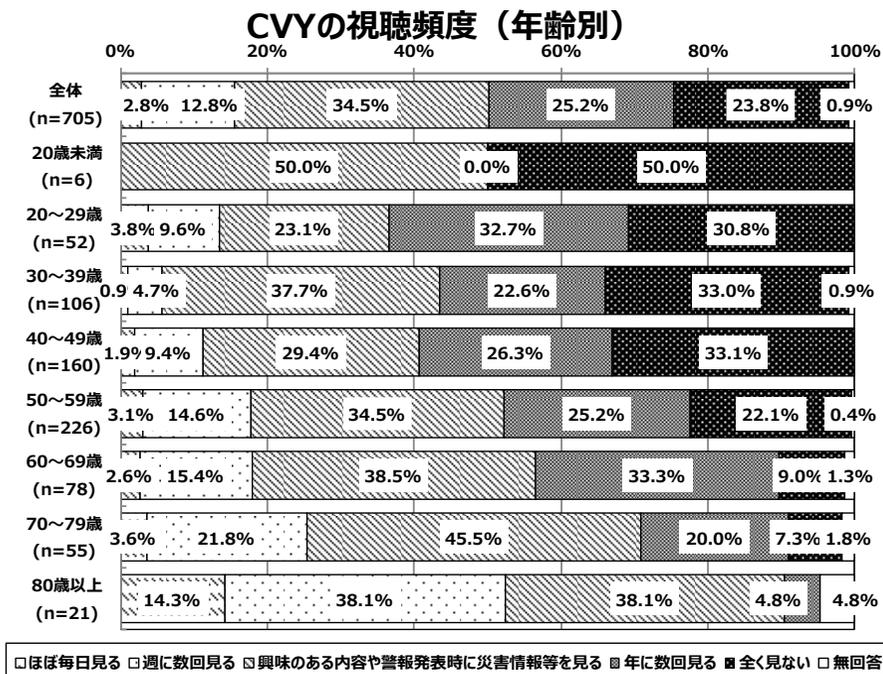


CVYの視聴頻度の結果

- CVYの視聴頻度を調査した結果、「ほぼ毎日見る」が2.8%、「週に数回見る」が12.8%、「興味のある内容や警報発表時に災害情報等を見る」が34.5%、「年に数回見る」が25.2%となっており、全体の7割以上が年に数回以上見ると回答しています。

7.町民の日常生活

設問文：C V Y（11チャンネル）のテレビ放送をどのくらいの頻度で視聴していますか。

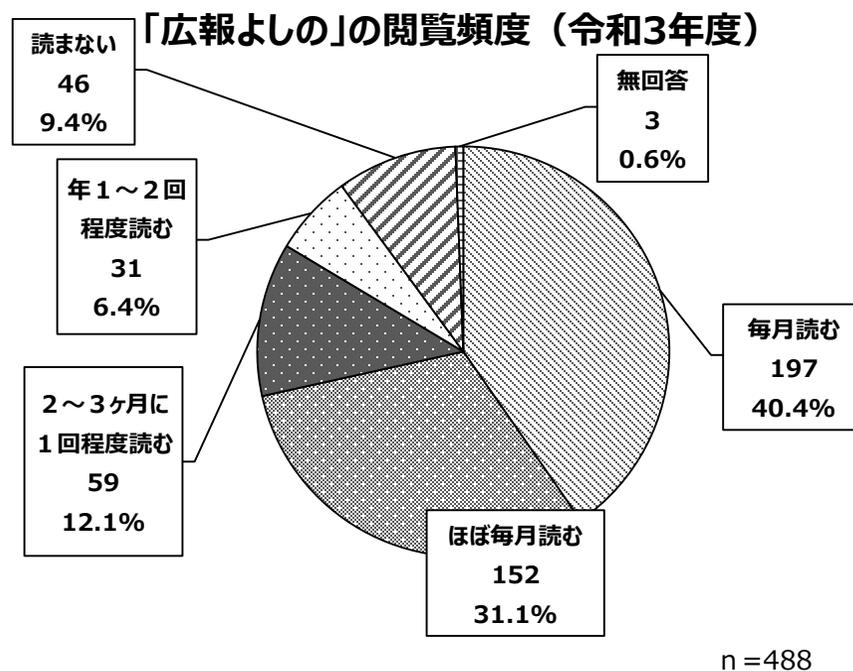
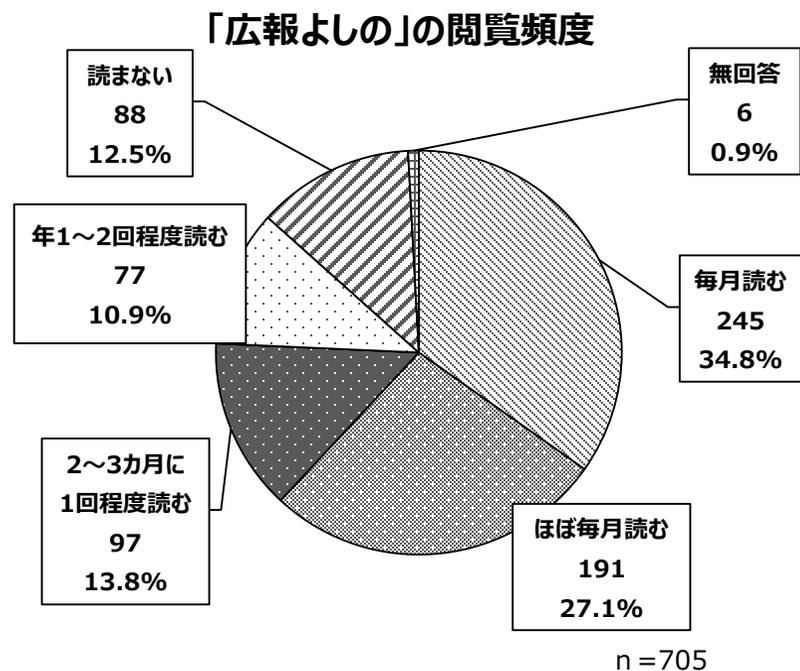


CVYの結果（属性別）

- 年代別にみると、「ほぼ毎日見る」と回答した年代は、80代以上が14.3%と最も多く、次いで20代が3.8%となっています。一方で、「全く見ない」と回答した割合は、20歳未満が50.0%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「ほぼ毎日見る」と回答した地域は、中竜門地区が5.4%と最も多く、次いで龍門地区が4.9%、上市地区が4.1%となっています。一方で、「全く見ない」と回答した割合は、国栖地区が29.1%と最も多くなっています。

7.町民の日常生活

設問文：吉野町が発行している広報誌（広報よしの）をどのくらいの頻度で読んでいますか。



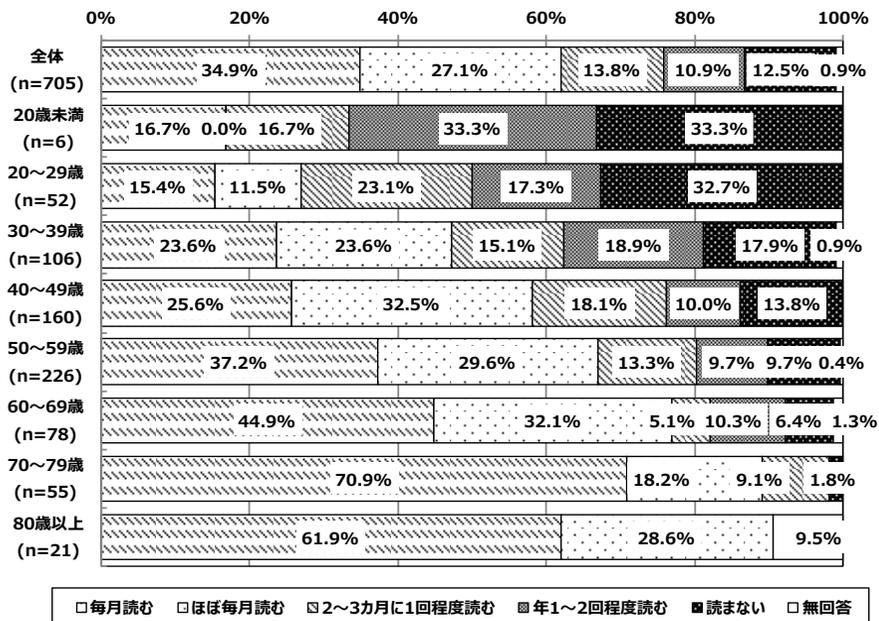
「広報よしの」の閲覧頻度の結果

- 広報誌の閲覧頻度を調査した結果、「毎月読む」が34.8%、「ほぼ毎月読む」が27.1%となっており、全体の6割以上が毎月読むと回答しています。
- 前回調査と比べて、毎月読む（「毎月読む」「ほぼ毎月読む」の計）の回答が9.6%低くなっています。

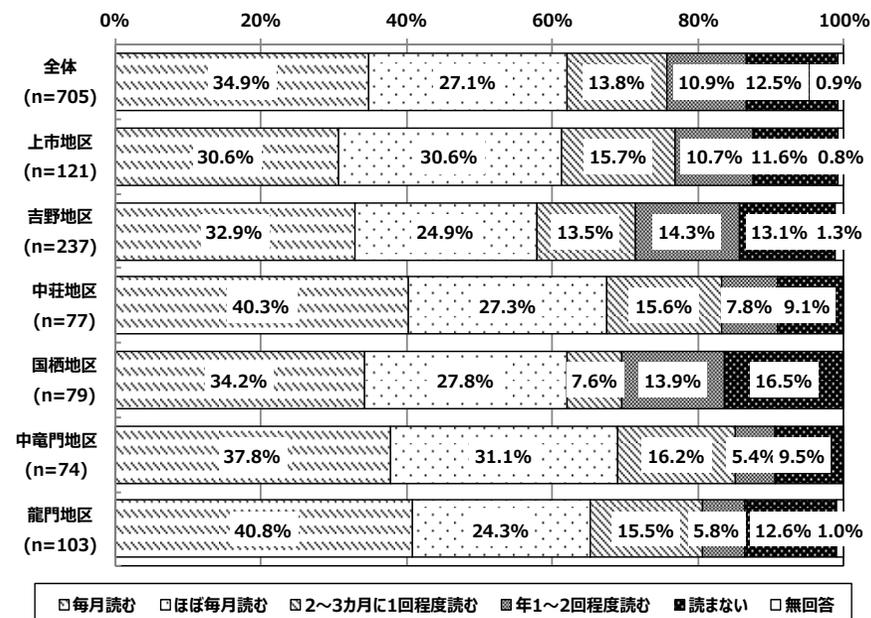
7.町民の日常生活

設問文：吉野町が発行している広報誌（広報よしの）をどのくらいの頻度で読んでいますか。

「広報よしの」の閲覧頻度（年齢別）



「広報よしの」の閲覧頻度（居住地別）

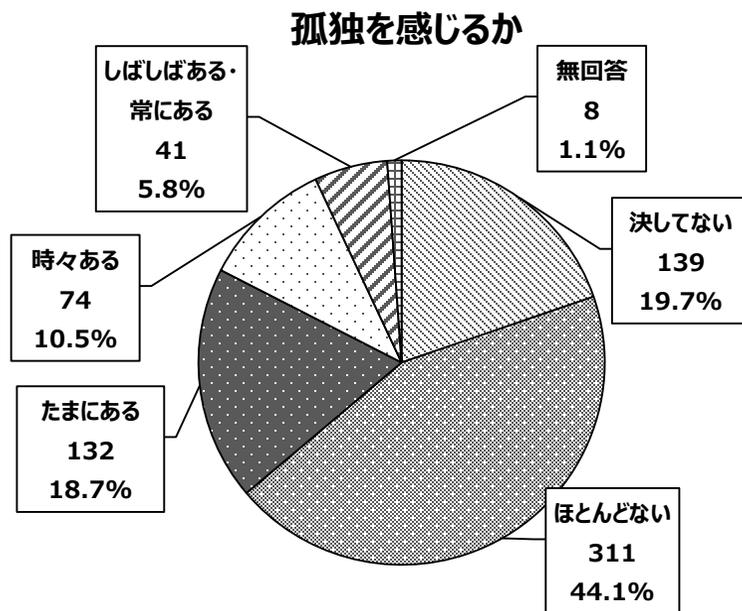


「広報よしの」の閲覧頻度の結果（属性別）

- 年代別にみると、毎月読む（「毎月読む」「ほぼ毎月読む」の計）と回答した年代は、80歳以上が合計90.5%と最も多く、次いで70代が89.1%、60代が77.0%となっています。一方で、「読まない」と回答した割合は、20歳未満が33.3%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、毎月読む（「毎月読む」「ほぼ毎月読む」の計）と回答した地域は、中竜門地区が68.9%と最も多く、次いで中荘地区が67.6%、龍門地区が65.1%となっています。一方で、「読まない」と回答した割合は、国栖地区が16.5%と最も多くなっています。

7.町民の日常生活

設問文：あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。



n = 705

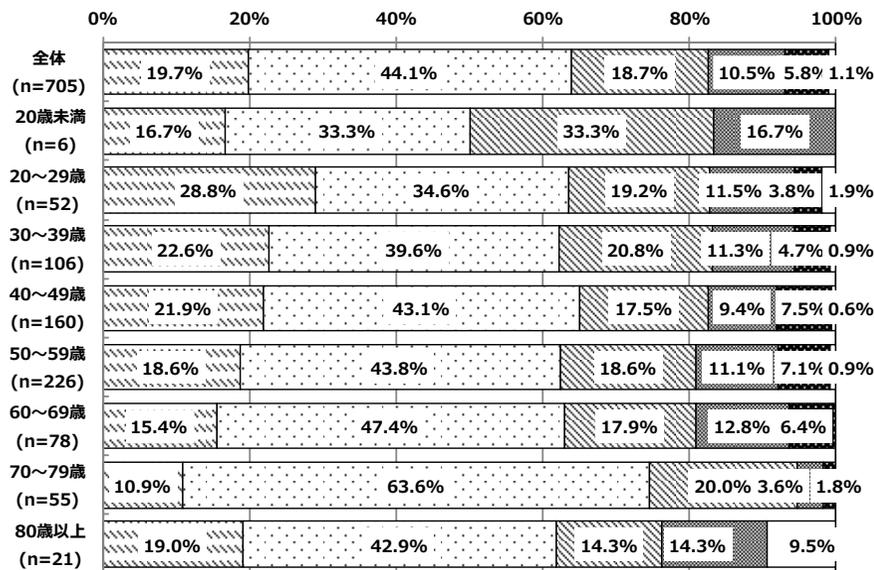
孤独を感じるかの結果

- 孤独を感じるか調査した結果、「決してない」が19.7%、「ほとんどない」が44.1%となっており、全体の6割以上が孤独を感じないと回答しています。

7.町民の日常生活

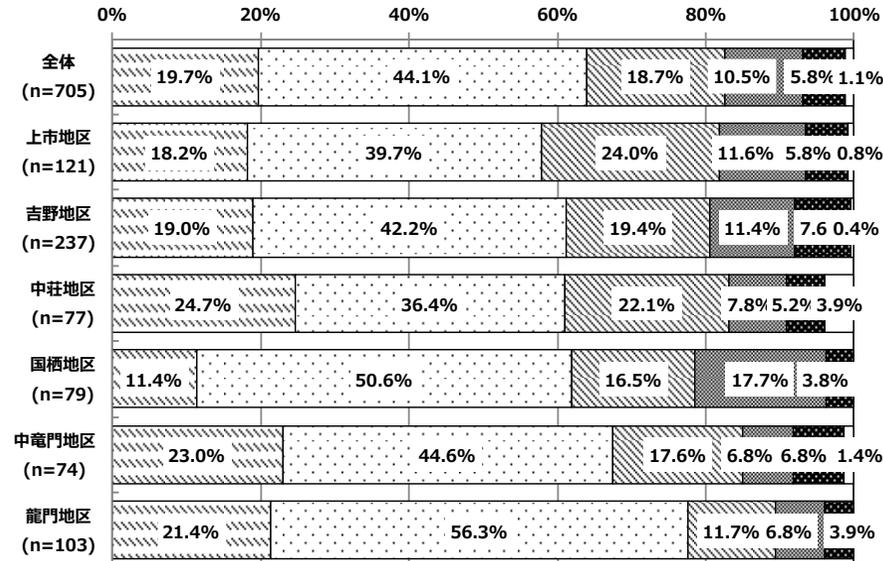
設問文：あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

孤独を感じるか（年齢別）



決してない
 ほとんどない
 たまにある
 時々ある
 しばしばある・常にある
 無回答

孤独を感じるか（居住地別）



決してない
 ほとんどない
 たまにある
 時々ある
 しばしばある・常にある
 無回答

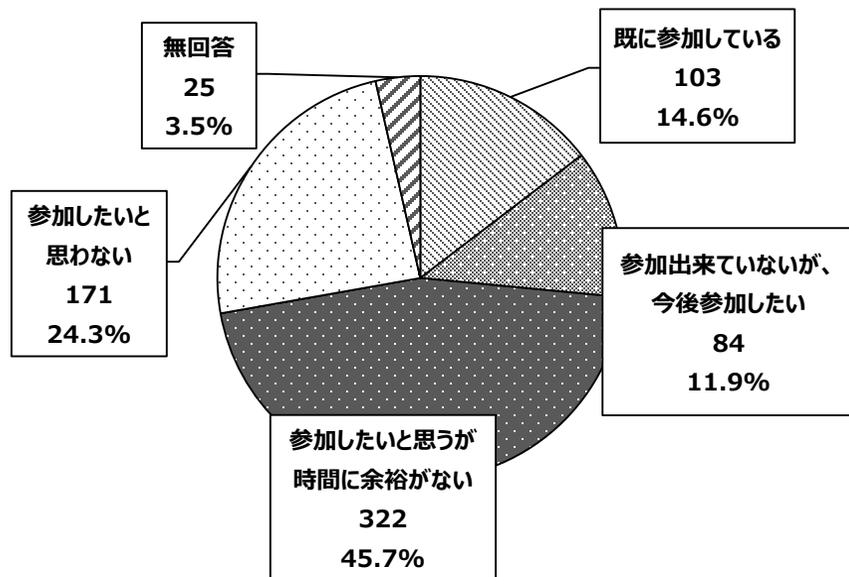
孤独を感じるかの結果（属性別）

- 年代別にみると、「決してない」「ほとんどない」と回答した年代は、70代以上が74.5%と最も多く、次いで40代が65.0%、20代が63.4%となっています。一方で、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、40代が7.5%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「決してない」「ほとんどない」と回答した地域は、龍門地区が77.7%と最も多く、次いで中竜門地区が67.6%、国栖地区が62.0%となっています。一方で、「しばしばある・常にある」と回答した割合は、吉野地区が7.6%と最も多くなっています。

8.地域のイベントや活動

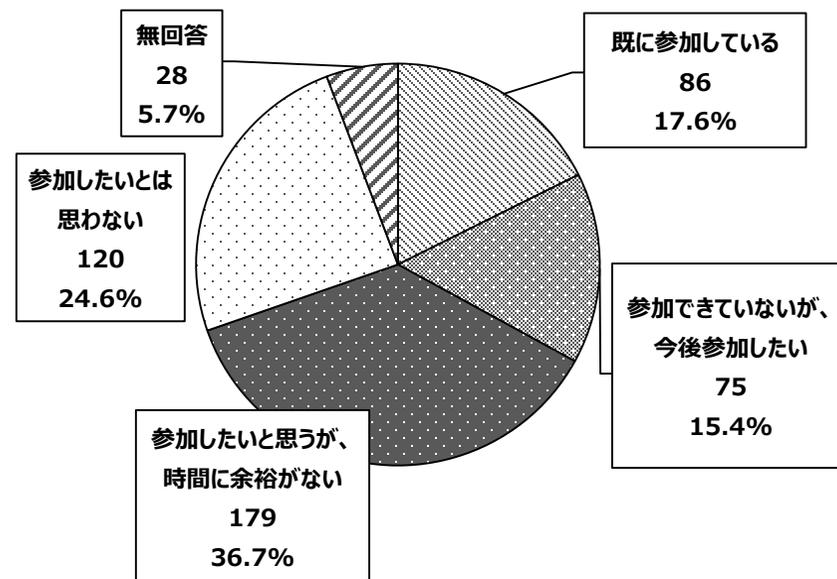
設問文：地域における見守り活動や子どもの登下校時における声掛け、子どもを見かけたときの挨拶など、子どもの成長を見守ることに参加していますか。

子ども見守り活動の参加意向



n = 705

子ども見守り活動の参加意向（令和3年度）



n = 488

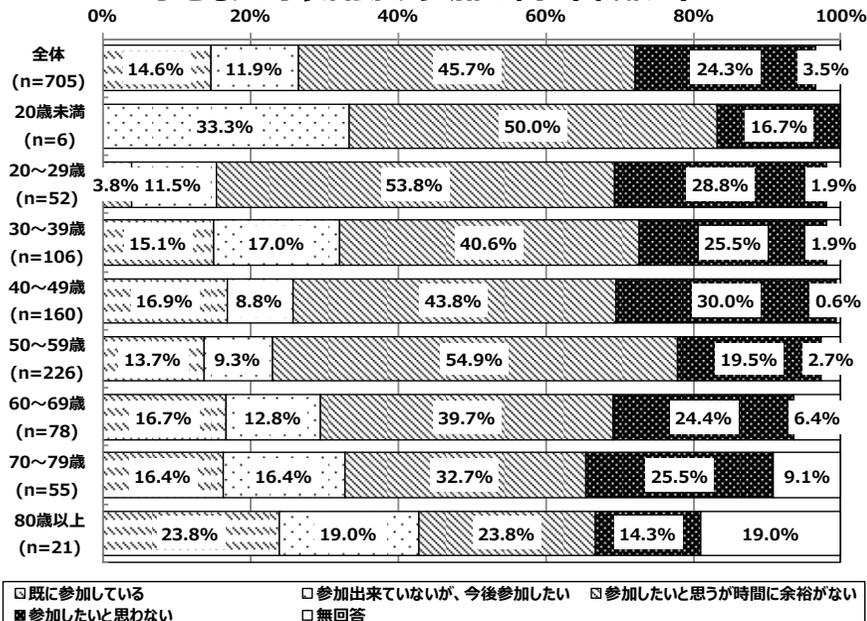
子ども見守り活動の参加意向についての結果

- 子どもの見守り活動への参加を調査した結果、「参加したいと思うが時間に余裕がない」が45.7%となっており、全体の4割以上を占めています。
- 前回調査と比べて、「参加したいと思うが時間に余裕がない」が9%高くなっています。

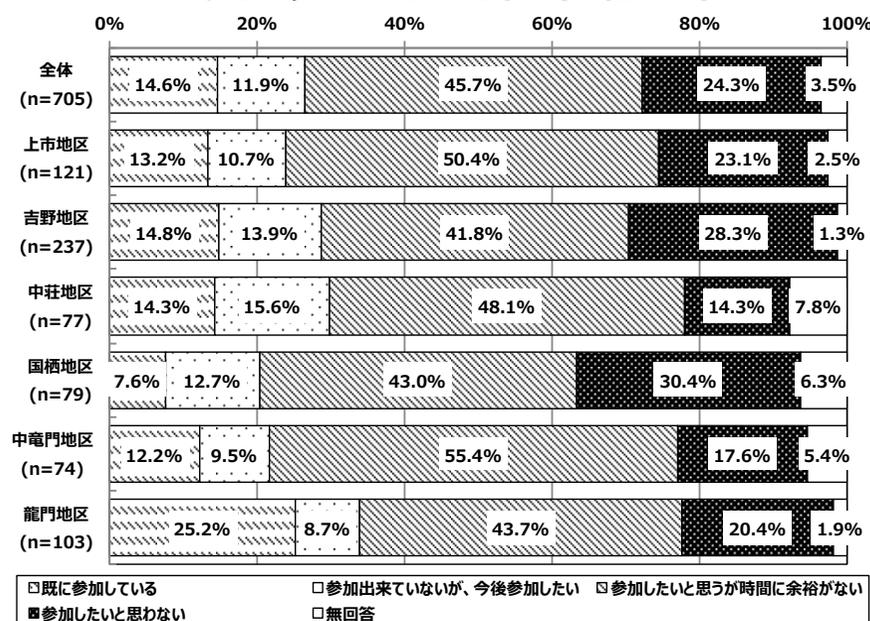
8.地域のイベントや活動

設問文：地域における見守り活動や子どもの登下校時における声掛け、子どもを見かけたときの挨拶など、子どもの成長を見守ることに参加していますか。

子ども見守り活動の参加意向（年齢別）



子ども見守り活動の参加意向（居住地別）



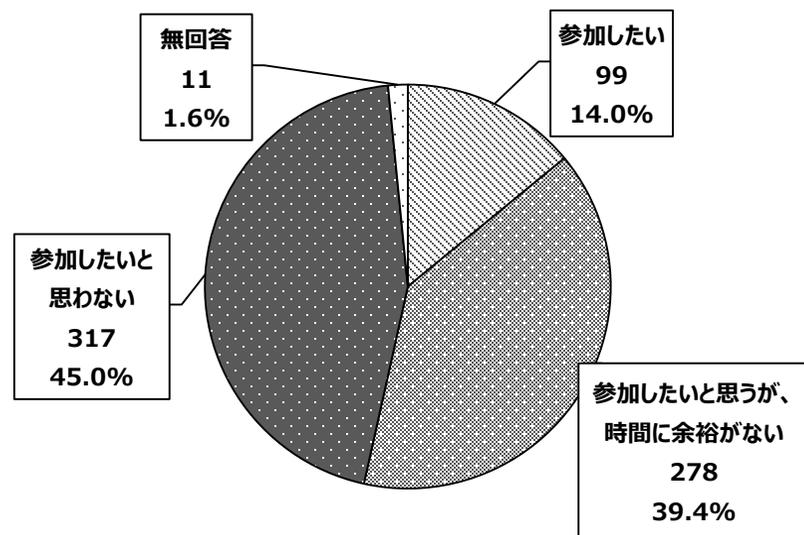
子ども見守り活動の参加意向についての結果（属性別）

- 年代別にみると、「既に参加している」と回答した年代は、80代以上が23.8%と最も多く、次いで40代が16.9%、60代が16.7%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、40代が30.0%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「既に参加している」と回答した地域は、龍門地区が25.2%と最も多く、次いで吉野地区が14.8%、中荘地区が14.3%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、国栖地区が30.4%と最も多くなっています。

8.地域のイベントや活動

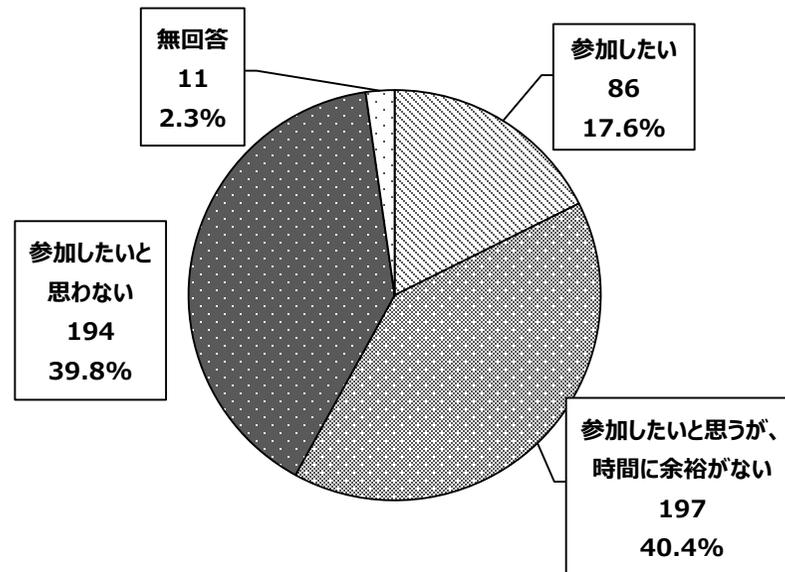
設問文：町教育委員会が主催する社会教育セミナーや地域の方々を中心となって実施されているサークル活動などにおいて、興味のあるものがあれば参加したいと思いますか。

サークル活動の参加意向



n = 705

サークル活動の参加意向（令和3年度）



n = 488

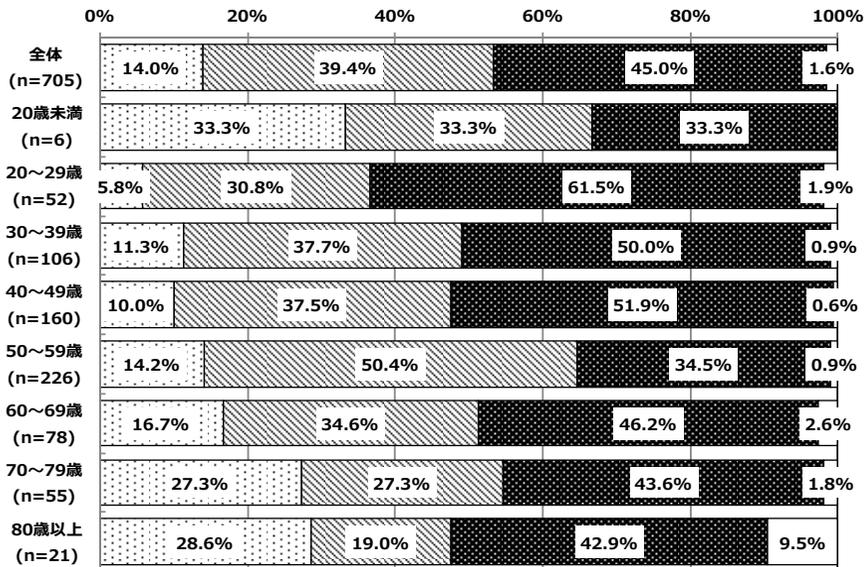
サークル活動の参加意向の結果

- サークル活動への参加を調査した結果、「参加したいと思うが時間に余裕がない」が39.4%、「参加したいと思わない」が45.0%となっています。
- 前回調査と比べて、「参加したいと思わない」が約5%高くなっています。

8.地域のイベントや活動

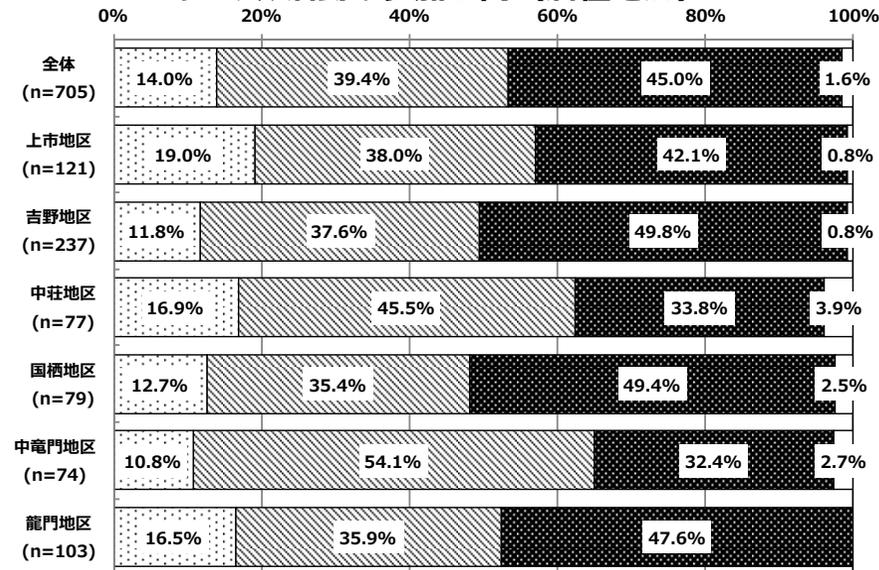
設問文：町教育委員会が主催する社会教育セミナーや地域の方々が中心となって実施されているサークル活動などにおいて、興味のあるものがあれば参加したいと思いますか。

サークル活動の参加意向（年齢別）



□ 参加したい ▨ 参加したいと思うが、時間に余裕がない ■ 参加したいと思わない □ 無回答

サークル活動の参加意向（居住地別）



□ 参加したい ▨ 参加したいと思うが、時間に余裕がない ■ 参加したいと思わない □ 無回答

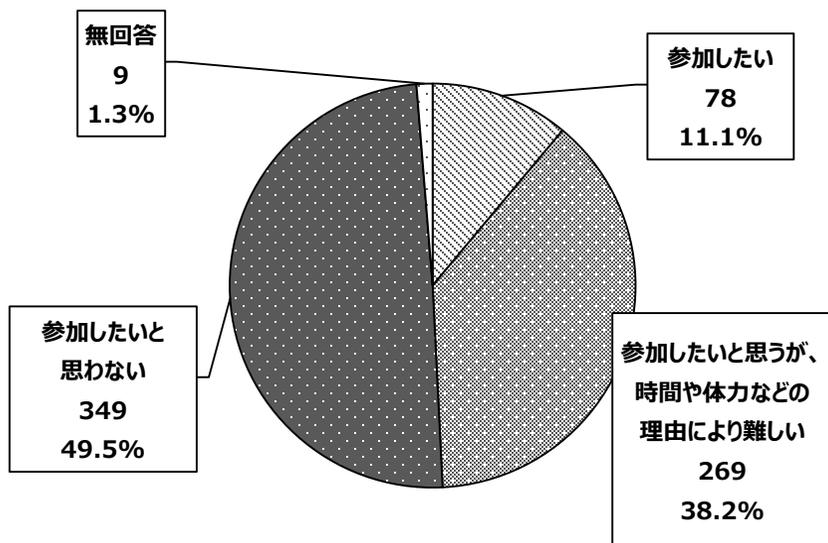
サークル活動の参加意向の結果（属性別）

- 年代別にみると、「参加したい」と回答した年代は、20歳未満が33.3%と最も多く、次いで80歳以上が28.6%、70代が27.3%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、20代が61.5%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「参加したい」と回答した地域は、上市地区が19.0%と最も多く、次いで中荘地区が16.9%、龍門地区が16.5%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、吉野地区が49.8%と最も多くなっています。

8.地域のイベントや活動

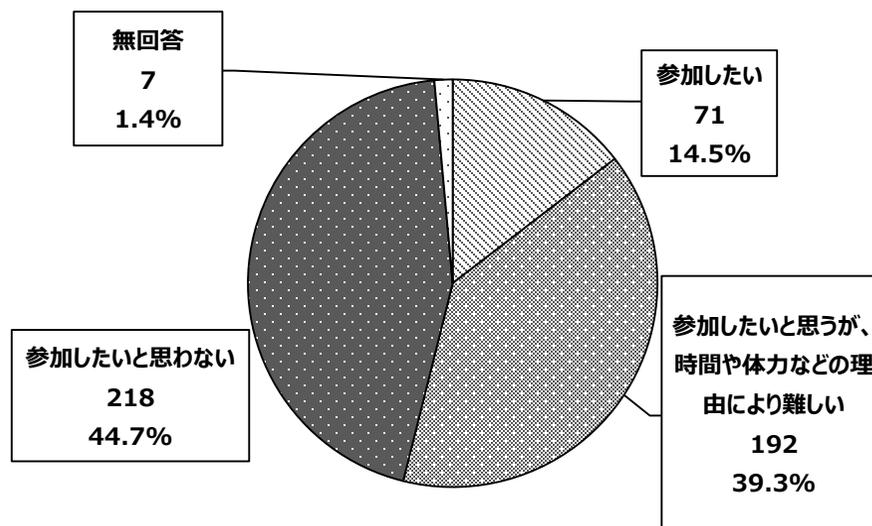
設問文：町教育委員会や町社会体育団体が実施している運動事業（町民体育祭・スポーツ教室・健康ウォーキング等）に参加したいと思いますか。

運動事業の参加意向



n = 705

運動事業の参加意向（令和3年度）



n = 488

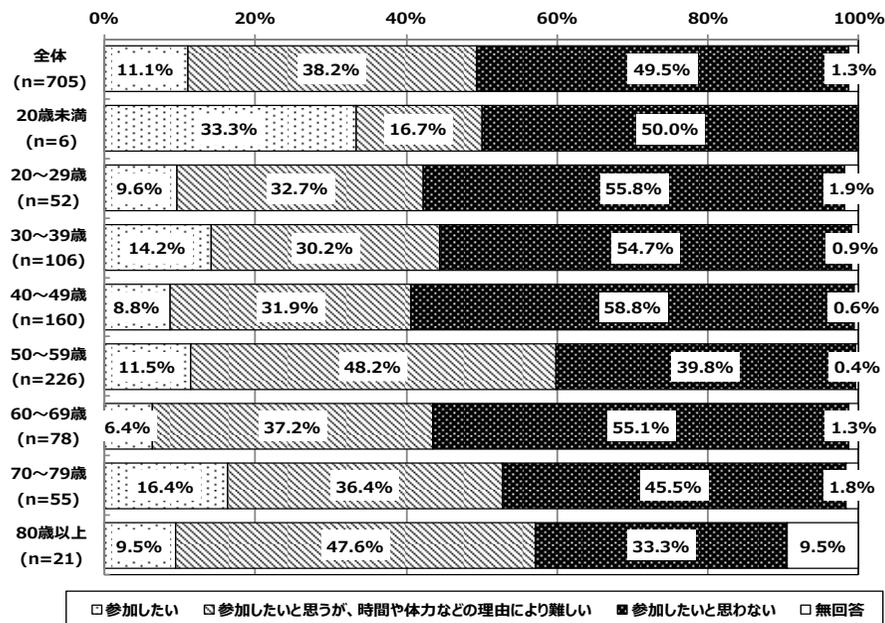
運動事業の参加意向の結果

- 運動事業への参加を調査した結果、「参加したいと思うが、時間や体力などの理由により難しい」が38.2%、「参加したいと思わない」が49.5%となっており、全体の約8割が運動事業へ参加しないと回答しています。
- 前回調査と比べて、「参加したいと思わない」が約5%高くなっています。

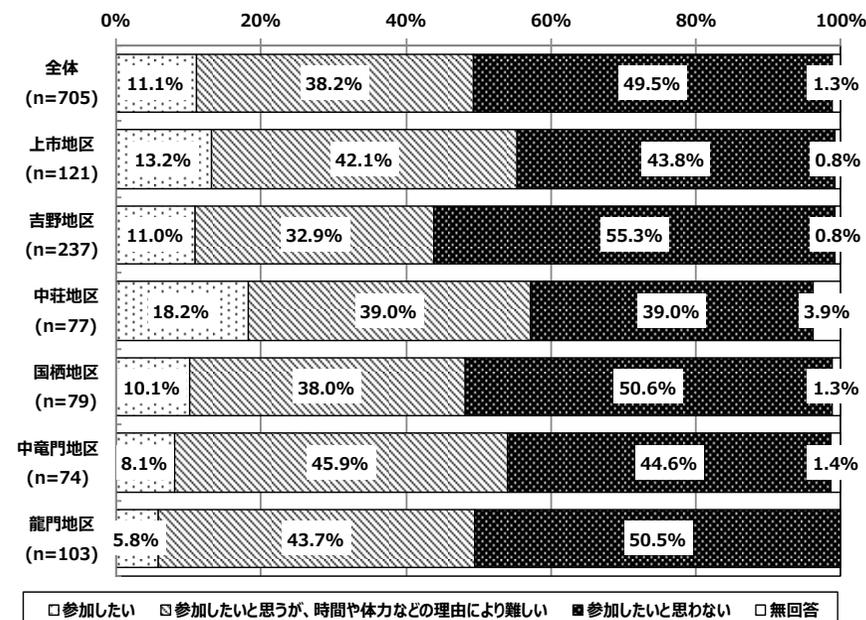
8.地域のイベントや活動

設問文：町教育委員会や町社会体育団体が実施している運動事業（町民体育祭・スポーツ教室・健康ウォーキング等）に参加したいと思いますか。

運動事業の参加意向（年齢別）



運動事業の参加意向（居住地別）



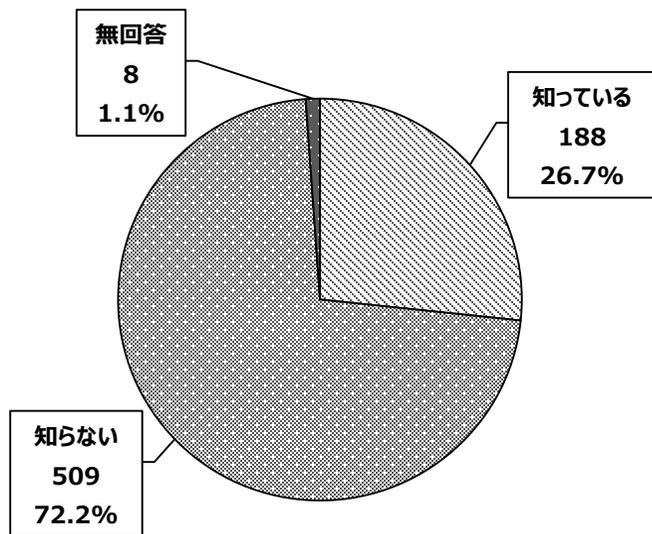
運動事業の参加意向の結果（属性別）

- 年代別にみると、「参加したい」と回答した年代は、20歳未満が33.3%と最も多く、次いで70代が16.4%、30代が14.2%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、40代が58.8%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「参加したい」と回答した地域は、中荘地区が18.2%と最も多く、次いで上市地区が13.2%、国栖地区が10.1%となっています。一方で、「参加したいと思わない」と回答した割合は、吉野地区が55.3%と最も多くなっています。

9.吉野町のまちづくり

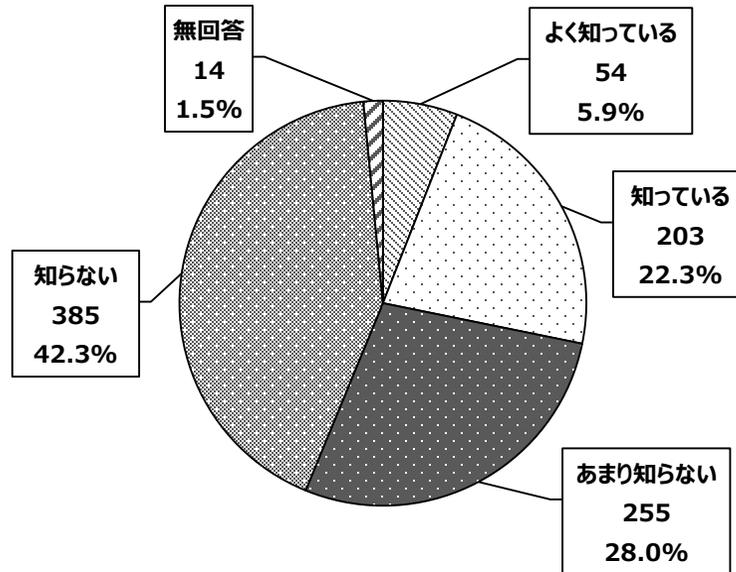
設問文：吉野町を含む吉野地域が日本遺産「森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～」に認定されていることを知っていますか。

日本遺産認定の認知



n = 705

日本遺産認定の認知（参考・前回調査）



n = 911

日本遺産認定の認知についての結果

- 日本遺産認定の認知について調査した結果、「知っている」が26.7%、「知らない」が72.2%となっており、全体の7割以上が知らないと回答しています。

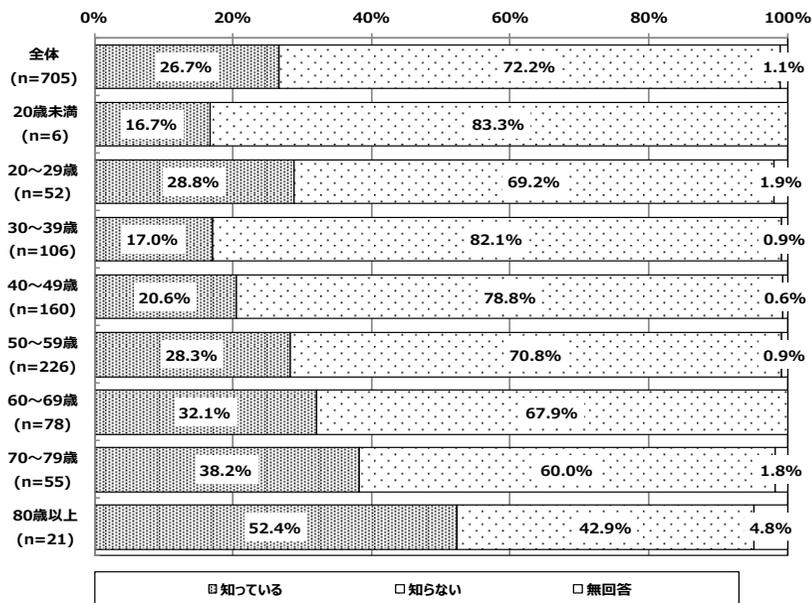
※前回調査では、

あなたは「吉野の造林技術」や「天然の森」、「柿の葉寿司」など人々の暮らしとところの文化が、平成28年4月に日本遺産として登録されたことを知っていますか。という質問であり、選択肢は「よく知っている」「知っている」「あまり知らない」「知らない」の4択となっています。

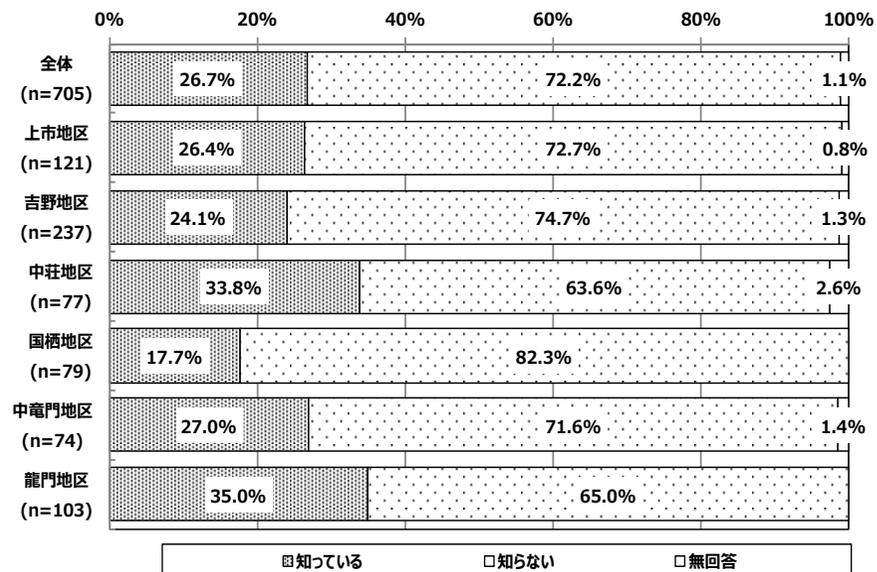
9. 吉野町のまちづくり

設問文：吉野町を含む吉野地域が日本遺産「森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～」に認定されていることを知っていますか。

日本遺産認定の認知（年齢別）



日本遺産認定の認知（居住地別）

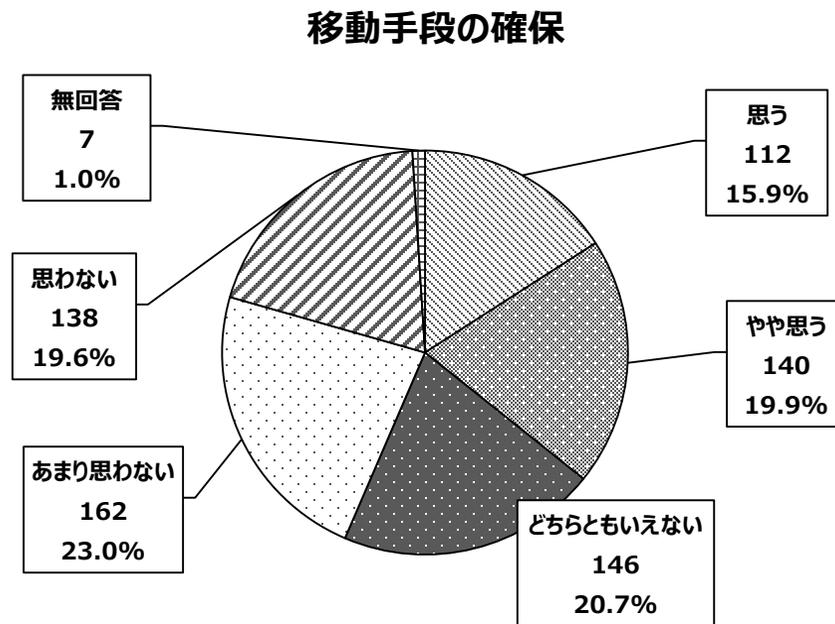


日本遺産認定の認知についての結果（属性別）

- 年代別にみると、「知っている」と回答した年代は、80代以上が52.4%と最も多く、次いで70代が38.2%、60代が32.1%となっています。一方で、「知らない」と回答した割合は、20歳未満が83.3%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「知っている」と回答した地域は、龍門地区が35.0%と最も多く、次いで中荘地区が33.8%、中竜門地区が27.0%となっています。一方で、「知らない」と回答した割合は、国栖地区が82.3%と最も多くなっています。

9. 吉野町のまちづくり

設問文：日常生活に必要な移動手段が確保されていると思いますか。



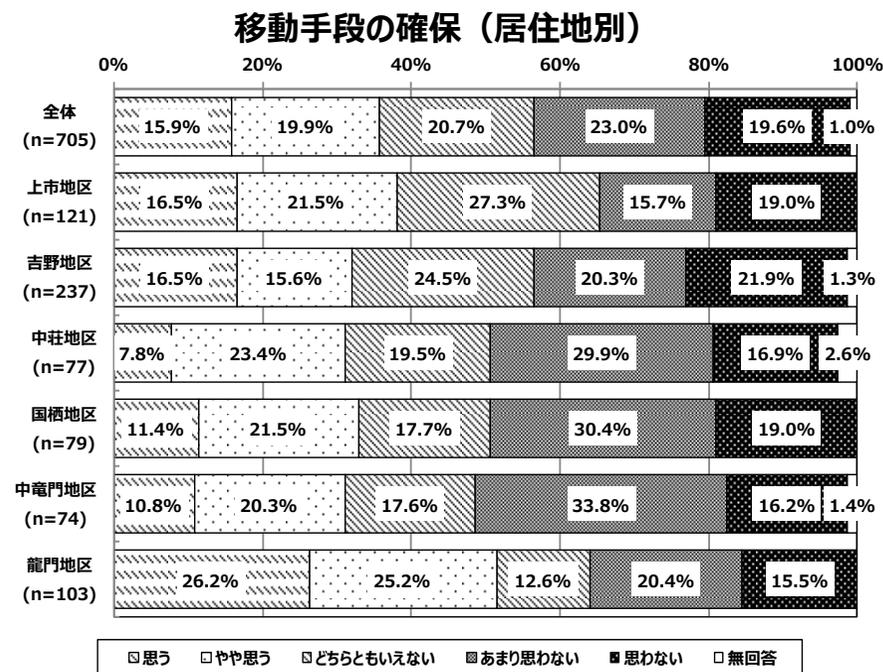
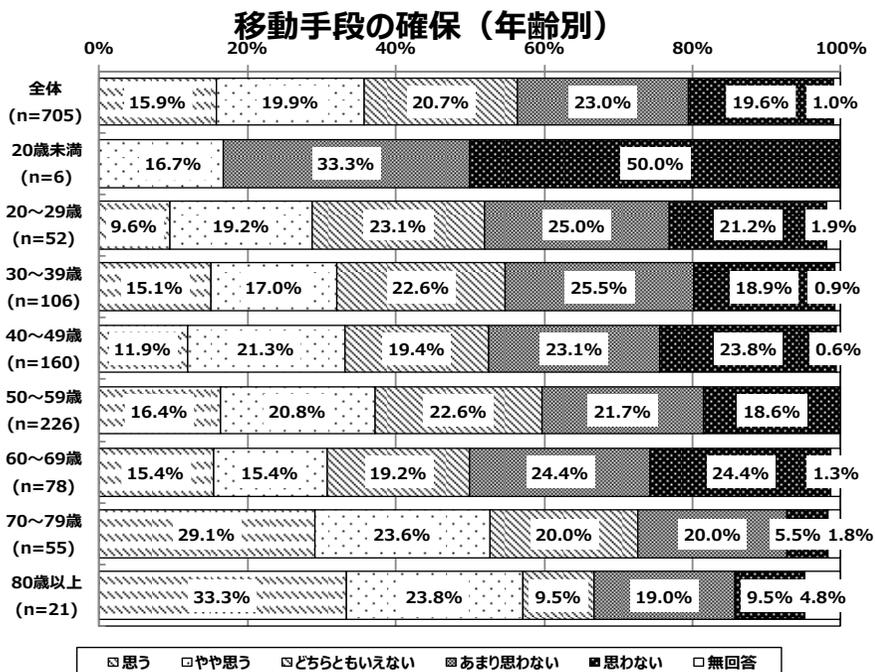
n = 705

移動手段の確保の結果

- 移動手段の確保されているかを調査した結果、「思う」が15.9%、「やや思う」が19.9%となっており、全体の約4割が日常生活の移動手段が確保されていると回答しています。

9. 吉野町のまちづくり

設問文：日常生活に必要な移動手段が確保されていると思いますか。



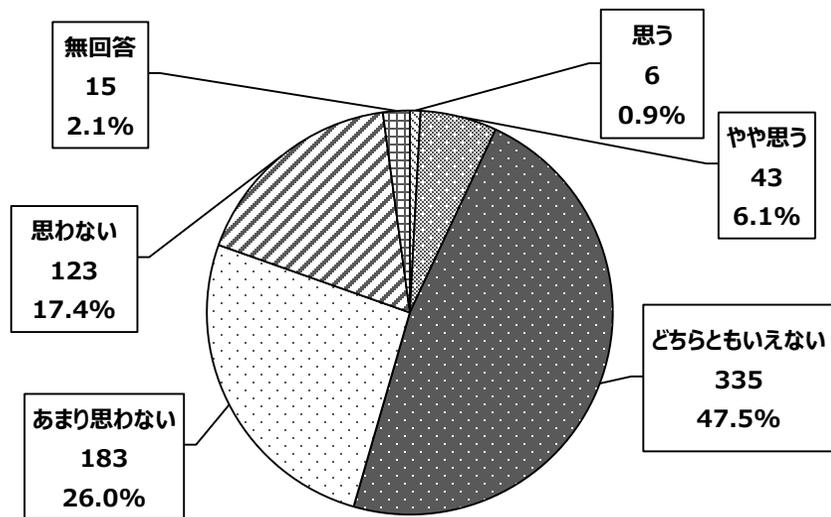
移動手段の確保の結果（属性別）

- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、80代以上が57.1%と最も多く、次いで70代が52.7%、50代が37.2%となっています。一方で、「思わない」と回答した割合は、20歳未満が50.0%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、龍門地区が51.4%と最も多く、次いで上市地区が38.0%、国栖地区が32.9%となっています。一方で、「思わない」と回答した割合は、吉野地区が21.9%と最も多くなっています。

9.吉野町のまちづくり

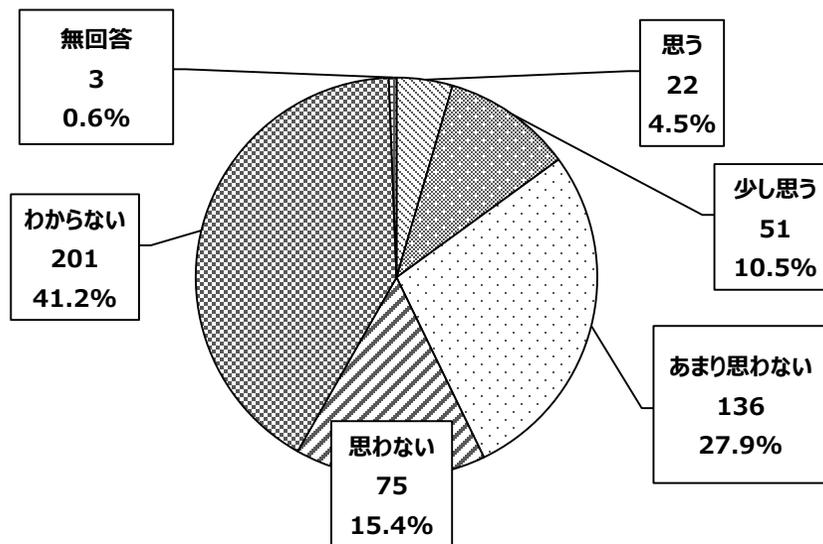
設問文：吉野町が障がい者にとって社会参加しやすいまちだと思いますか。

障がい者の社会参加のしやすさ



n = 705

障がい者の社会参加のしやすさ（参考）



n = 488

障がい者の社会参加のしやすさについての結果

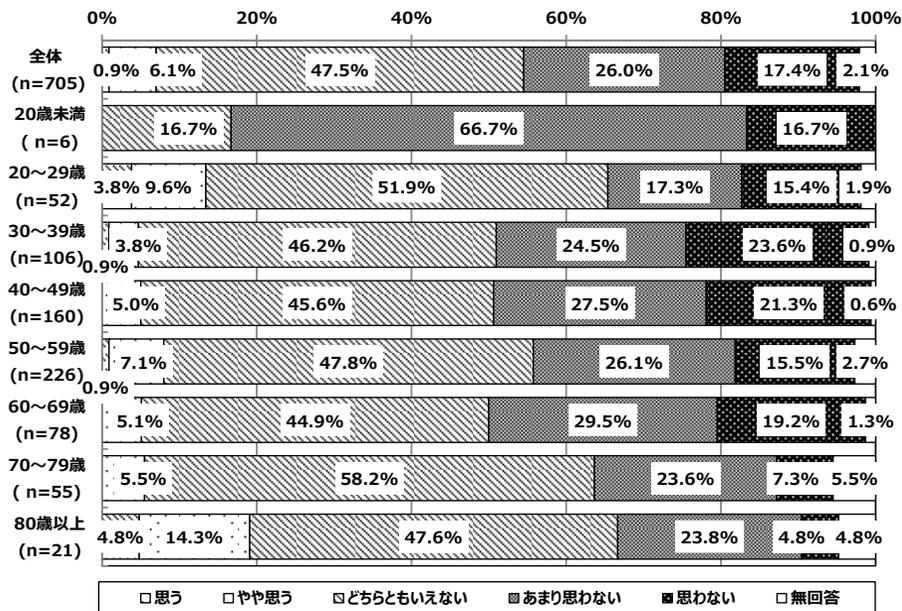
- 障がい者の社会参加のしやすさについての結果、「あまり思わない」が26.0%、「思わない」が17.4%となっており、全体の4割以上が参加しにくいと回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

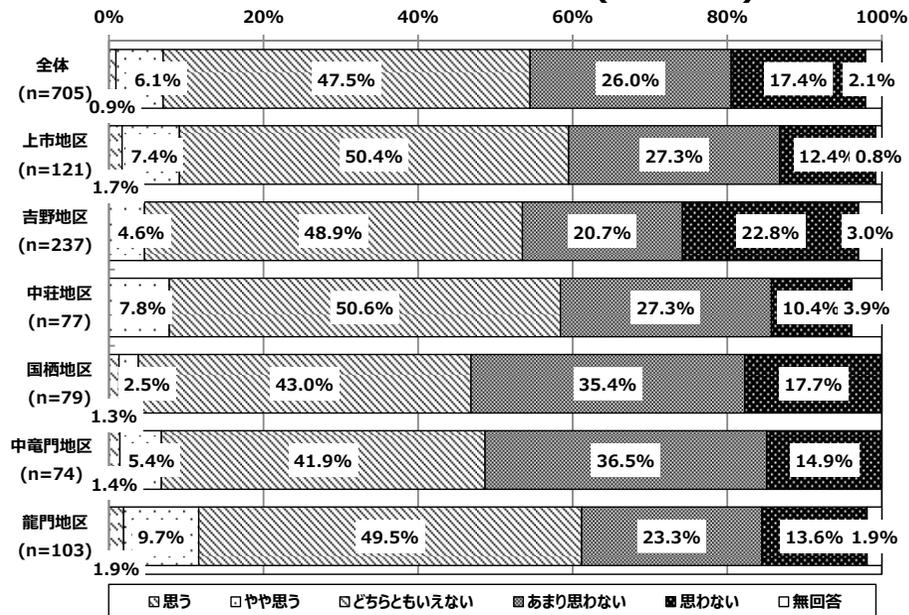
9. 吉野町のまちづくり

設問文：吉野町が障がい者にとって社会参加しやすいまちだと思いますか。

障がい者の社会参加のしやすさ(年齢別)



障がい者の社会参加のしやすさ(居住地別)

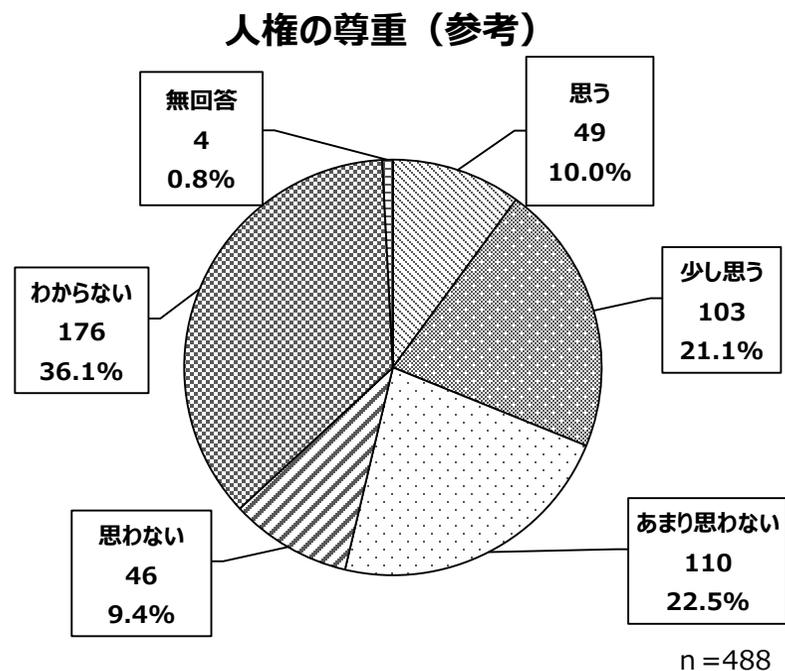
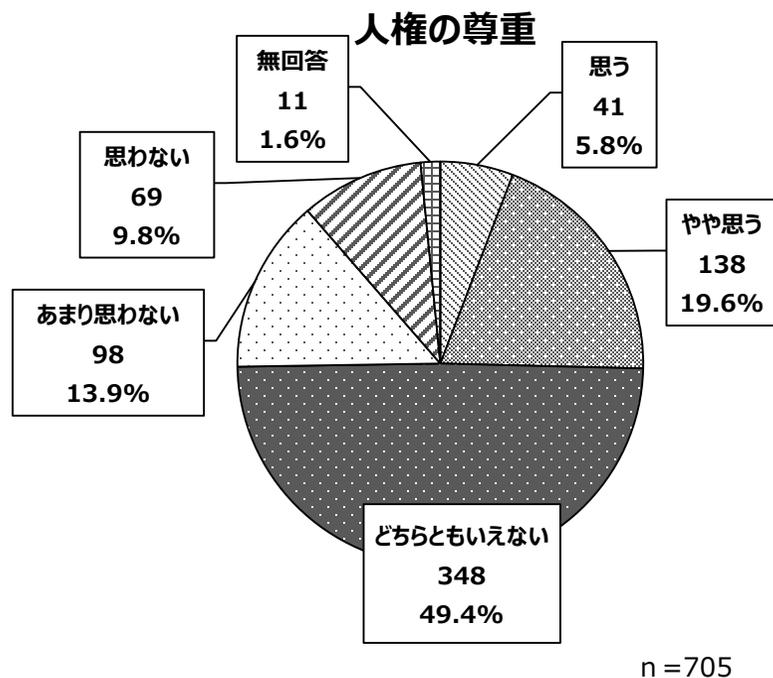


障がい者の社会参加のしやすさについての結果(属性別)

- 年代別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した年代は、20代未満が合計83.4%と最も多く、次いで40代が48.8%、60代が48.7%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は全世代合計20.0%以下となっています。
- また、地域別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した地域は、国栖地区が53.1%と最も多く、次いで中竜門地区が51.4%、吉野地区が43.5%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は全地域合計15.0%以下となっています。

9. 吉野町のまちづくり

設問文：今の吉野町は「人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。



人権の尊重についての結果

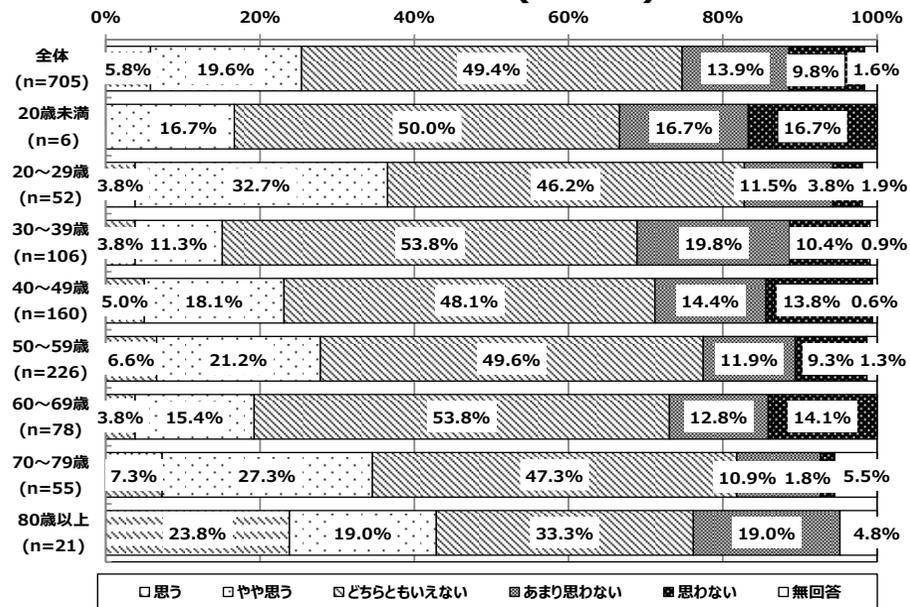
- 人権の尊重について調査した結果、「思う」が5.8%、「やや思う」が19.6%と全体の約2割となっており、「あまり思わない」が13.9%、「思わない」が9.8%と全体の約2割となっており、全体で意見が分かれています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

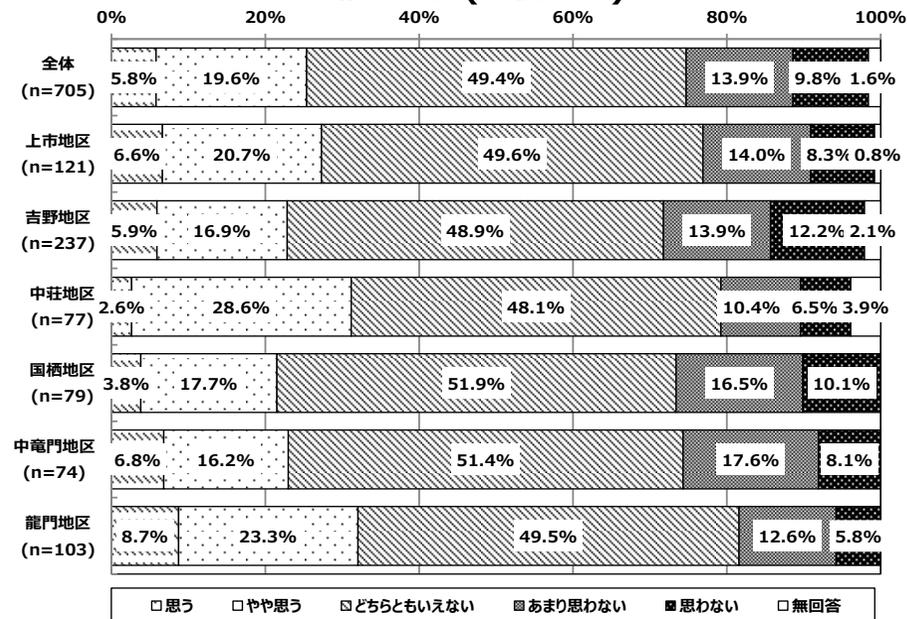
9.吉野町のまちづくり

設問文：今の吉野町は「人権が尊重されるまち」になっていると思いますか。

人権の尊重(年齢別)



人権の尊重(居住地別)



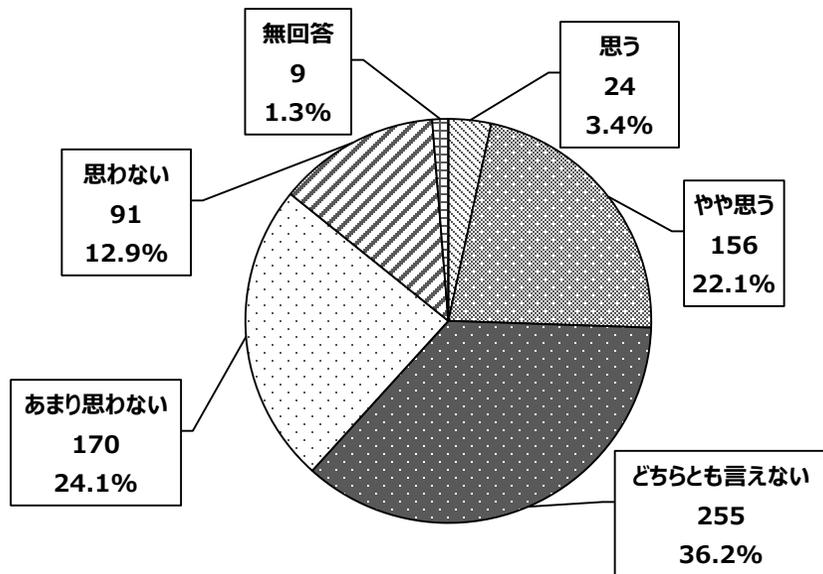
人権の尊重についての結果(属性別)

- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、80代以上が42.8%と最も多く、次いで20代が36.5%、70代が34.6%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は20歳未満が33.4%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、龍門地区が32.0%と最も多く、次いで中荘地区が31.2%、上市地区が27.3%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は国栖地区が26.6%と最も多くなっています。

9. 吉野町のまちづくり

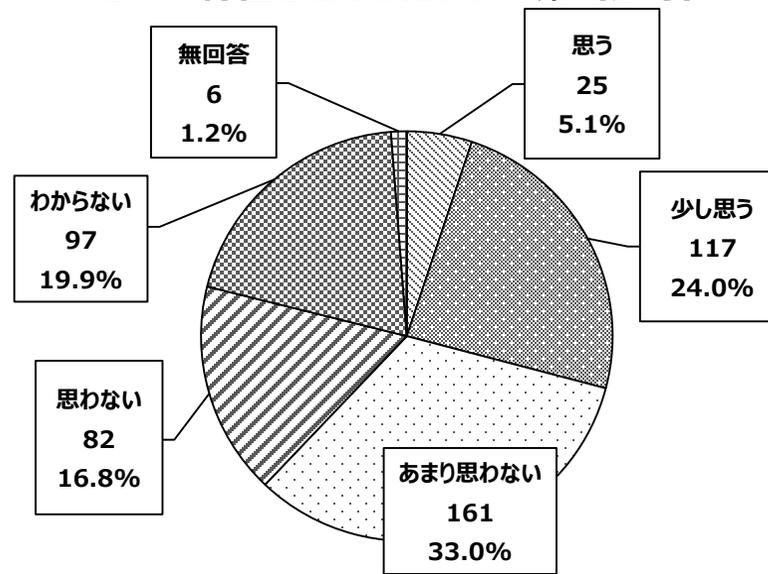
設問文：吉野町は地域の特性を活かしたまちづくりが進められていると思いますか。

地域の特性を活かしたまちづくり



n = 705

地域の特性を活かしたまちづくり（参考）



n = 488

地域の特性を活かしたまちづくりについての結果

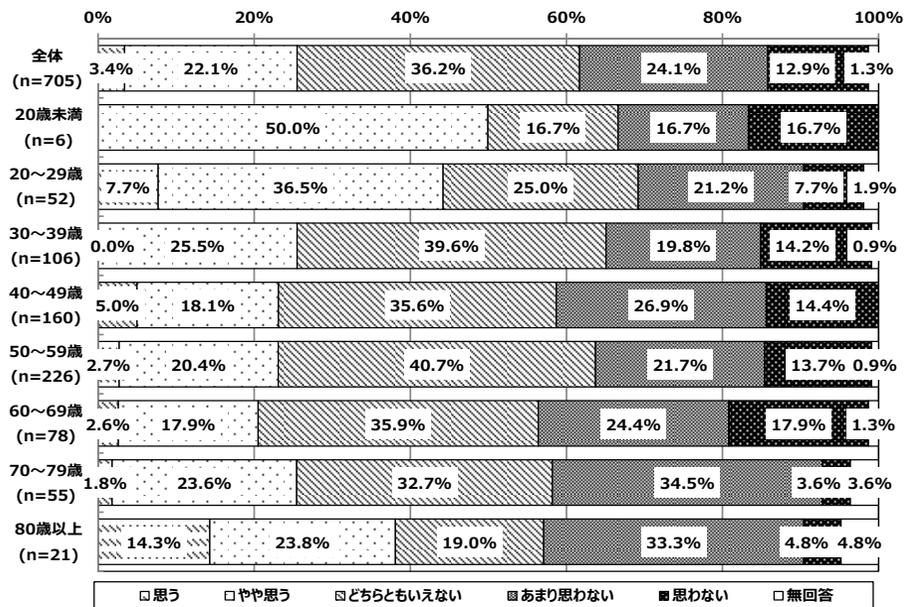
- 地域の特性を活かしたまちづくりについて調査した結果、「あまり思わない」が24.1%、「思わない」が12.9%となっており、全体の約4割が地域の特性を活かしていないと回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

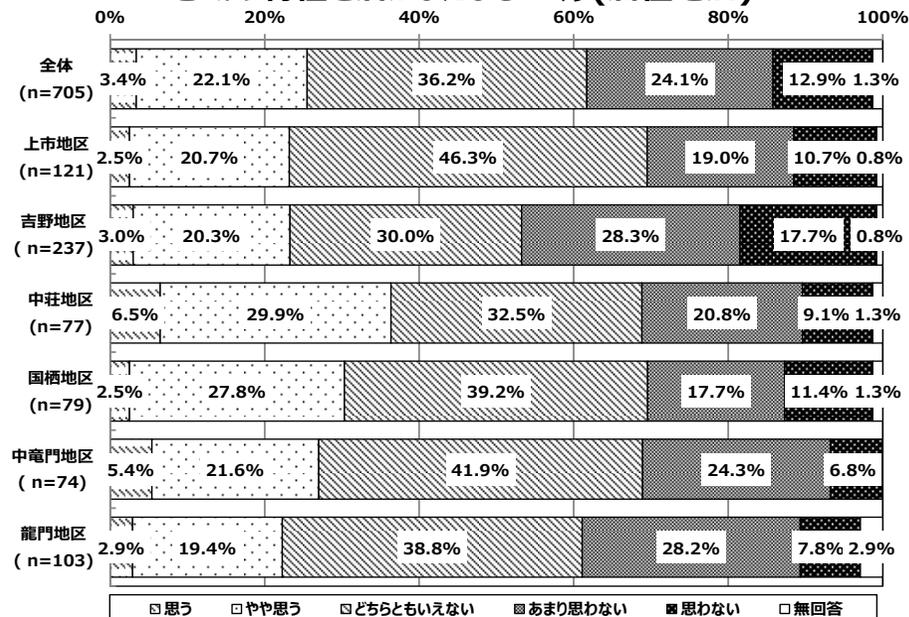
9.吉野町のまちづくり

設問文：吉野町は地域の特性を活かしたまちづくりが進められていると思いますか。

地域の特性を活かしたまちづくり(年齢別)



地域の特性を活かしたまちづくり(居住地別)

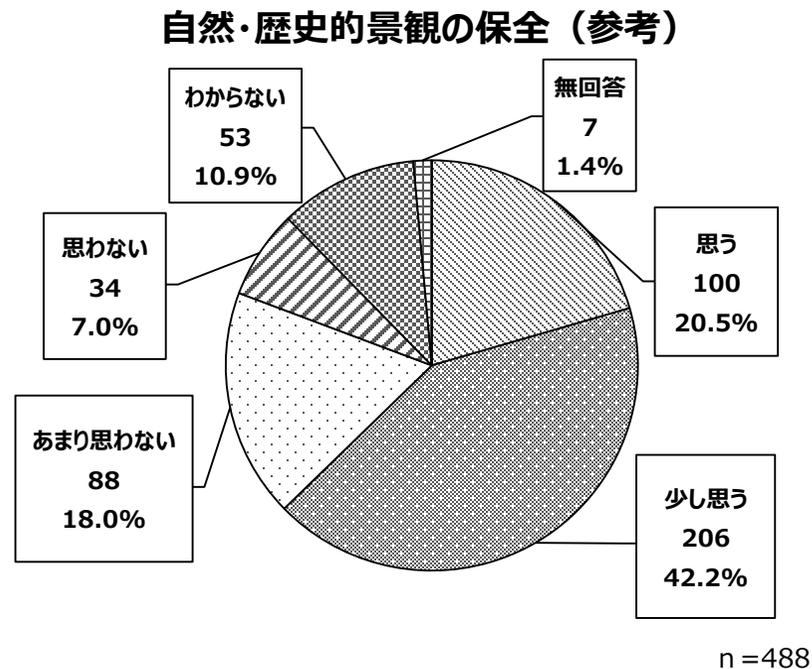
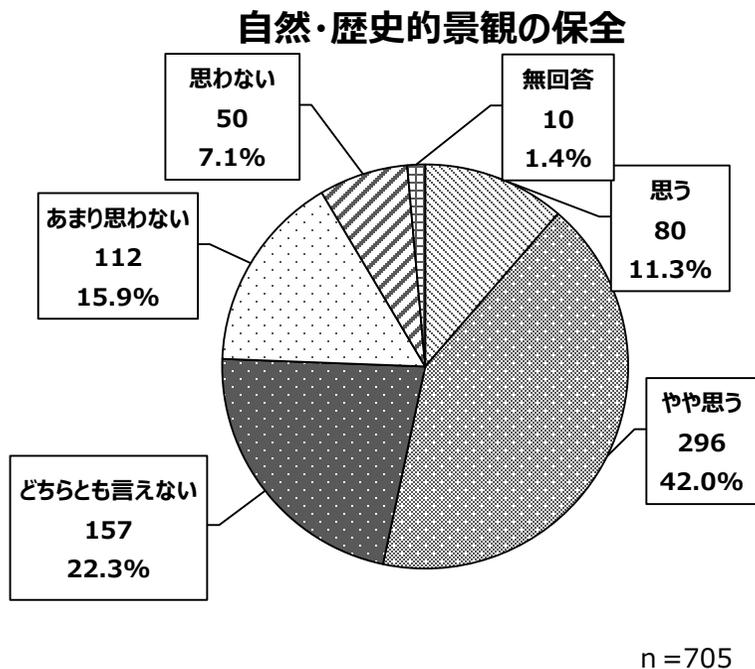


地域の特性を活かしたまちづくりについての結果(属性別)

- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、20歳未満が50.0%と最も多く、次いで20代が44.2%、80代以上が38.1%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は60代が42.3%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、中荘地区が合計36.4%と最も多く、次いで国栖地区が30.3%、中竜門地区が27.0%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は吉野地区が46.0%と最も多くなっています。

9. 吉野町のまちづくり

設問文：吉野町の自然景観や歴史的な景観が保全されていると思いますか。



自然・歴史的景観の保全についての結果

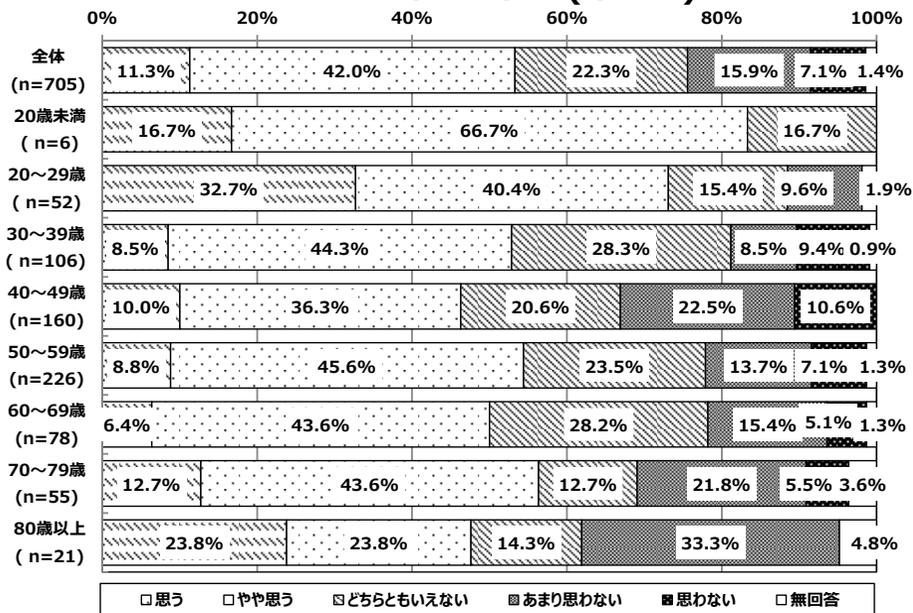
- 自然景観や歴史的景観の保全について調査した結果、「思う」が11.3%、「やや思う」が42.0%となっており、全体の5割以上が景観が保存されていると回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

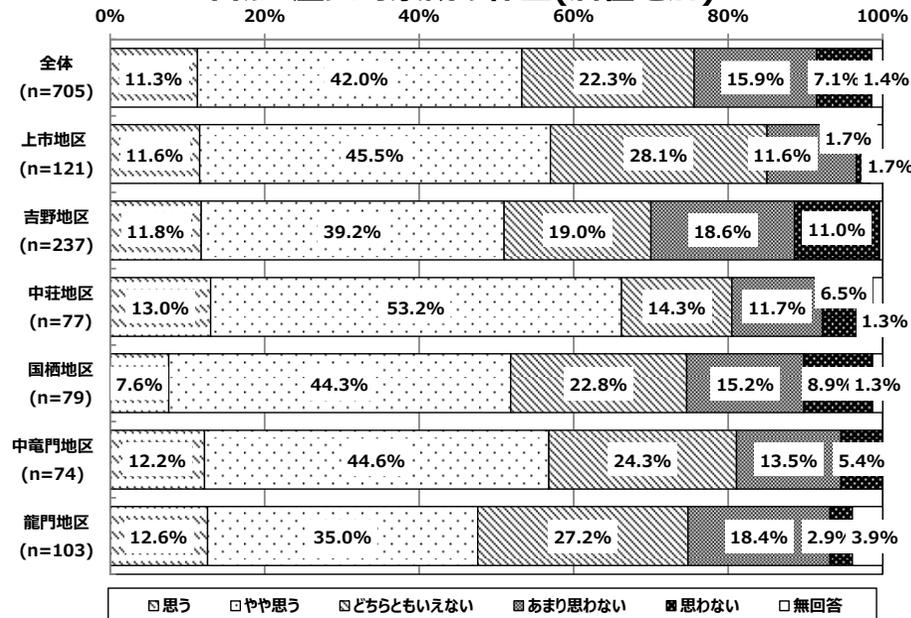
9.吉野町のまちづくり

設問文：吉野町の自然景観や歴史的な景観が保全されていると思いますか。

自然・歴史的景観の保全(年齢別)



自然・歴史的景観の保全(居住地別)

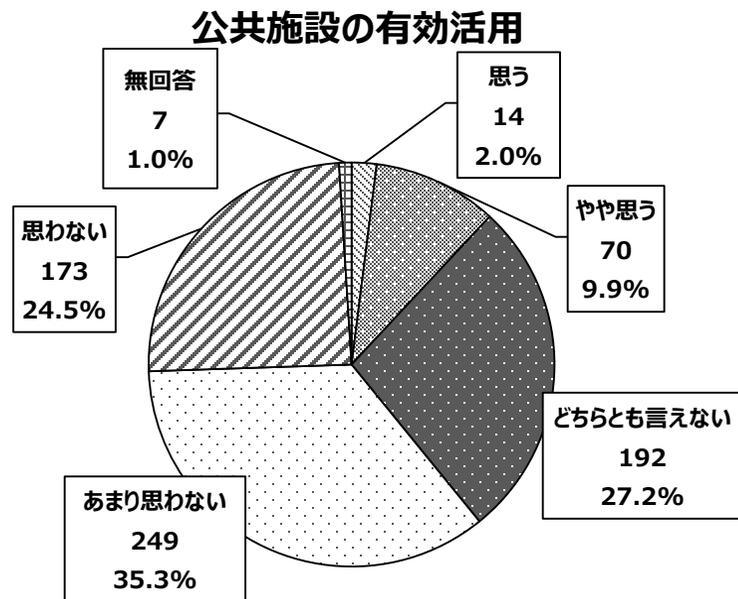


自然・歴史的景観の保全についての結果(属性別)

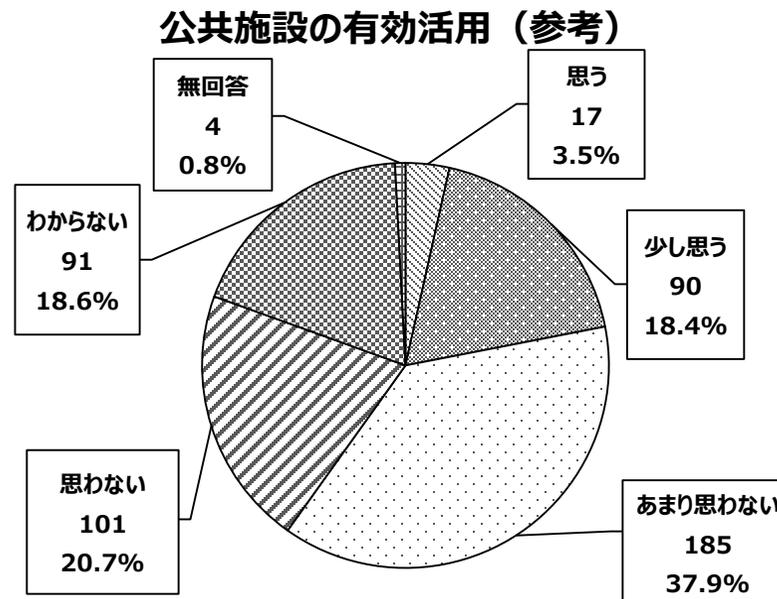
- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、20歳未満が83.4%と最も多く、次いで20代が73.1%、70代が56.3%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は80歳以上が33.3%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、中荘地区が合計66.2%と最も多く、次いで上市地区が57.1%、中竜門地区が56.8%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は吉野地区が29.6%と最も多くなっています。

9. 吉野町のまちづくり

設問文：吉野町の土地や公共施設が有効に活用されていると思いますか。



n = 705



n = 488

公共施設の有効活用についての結果

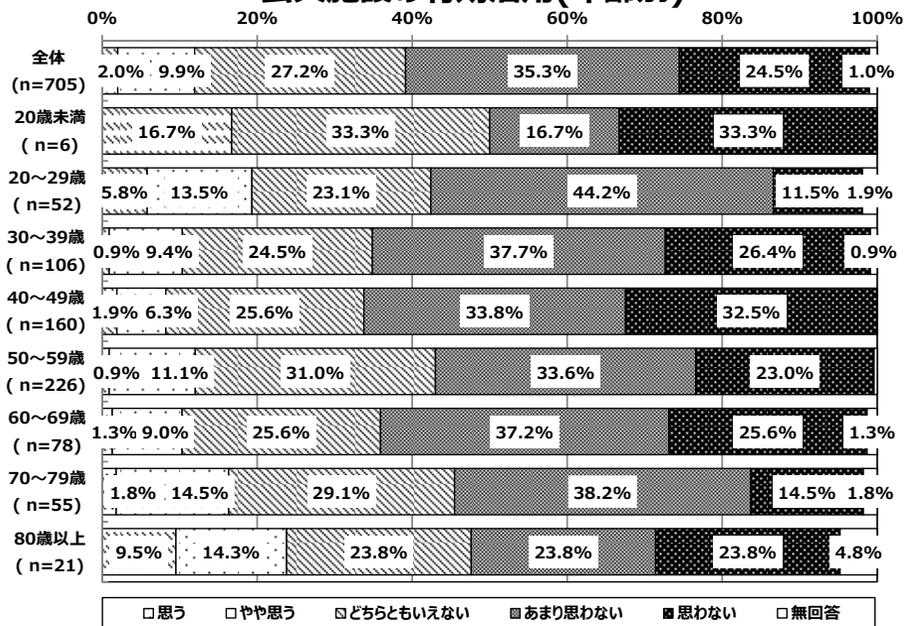
- 公共施設の有効活用について調査した結果、「あまり思わない」が35.3%、「思わない」が24.5%となっており、全体の約6割が有効活用できていないと回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています

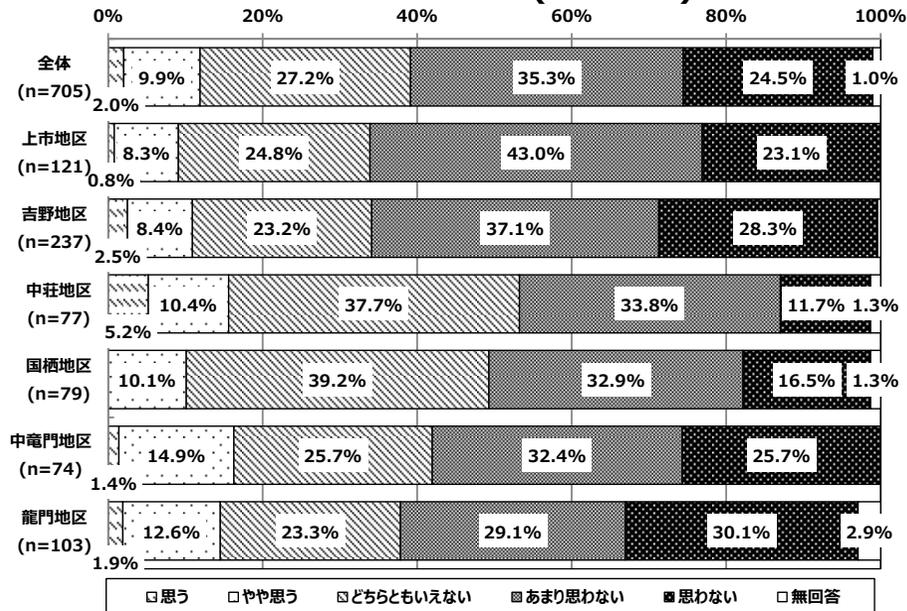
9. 吉野町のまちづくり

設問文：吉野町の土地や公共施設が有効に活用されていると思いますか。

公共施設の有効活用(年齢別)



公共施設の有効活用(居住地別)

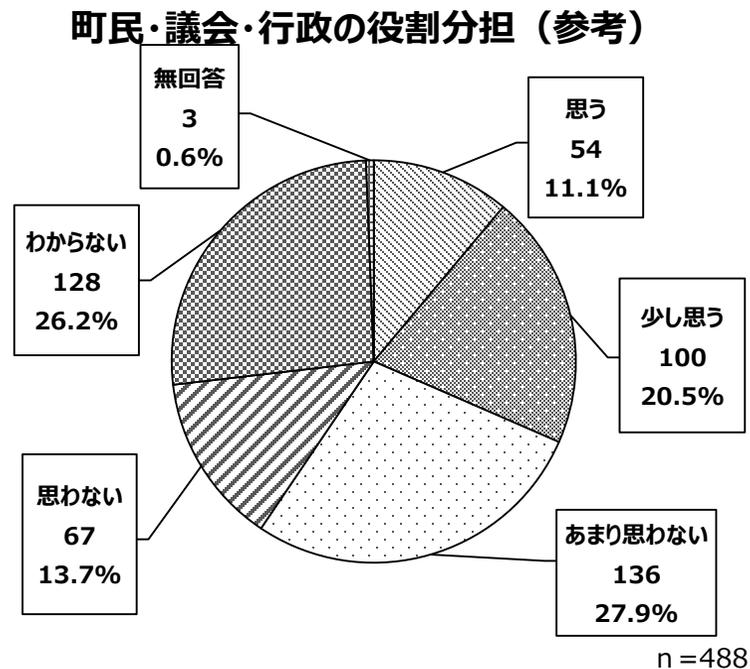
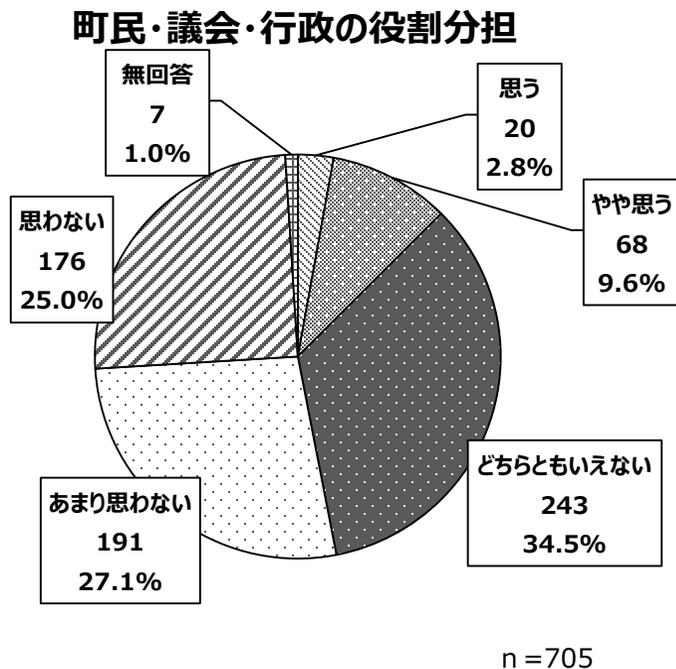


公共施設の有効活用についての結果(属性別)

- 年代別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した年代は、40代が66.3%と最も多く、次いで30代が64.1%、60代が62.8%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は80歳以上が23.8%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した地域は、上市地区が66.1%と最も多く、次いで吉野地区が65.4%、龍門地区が59.2%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は全地域20.0%以下となっています。

9.吉野町のまちづくり

設問文：吉野町のまちづくりにおいて、町民、議会、行政がそれぞれの役割と責務を認識し、連携・協力しながら取り組んでいると思いますか。



町民・議会・行政の役割分担についての結果

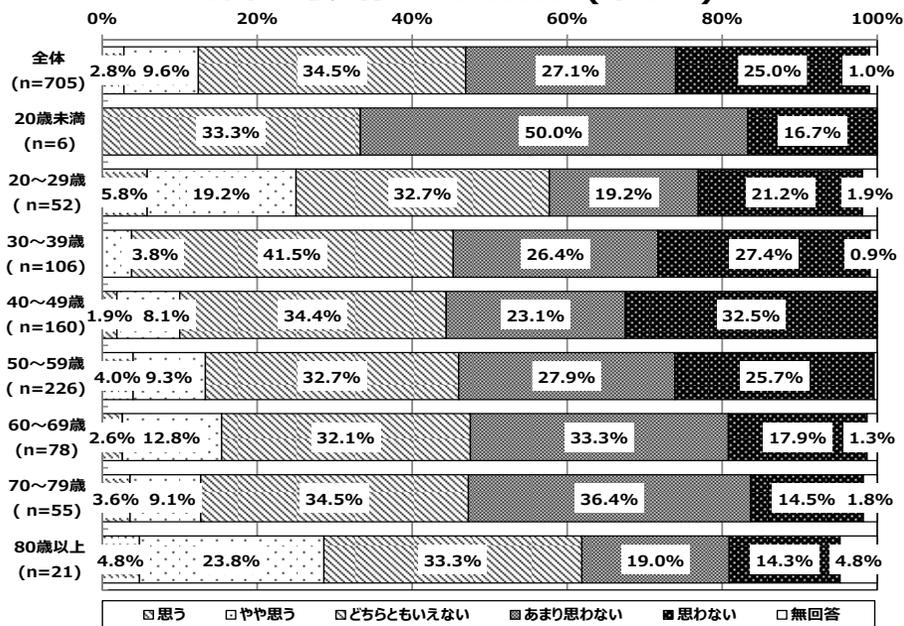
- 町民・議会・行政の役割分担について調査した結果、「あまり思わない」が27.1%、「思わない」が25.0%となっており、全体の5割以上を占めています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

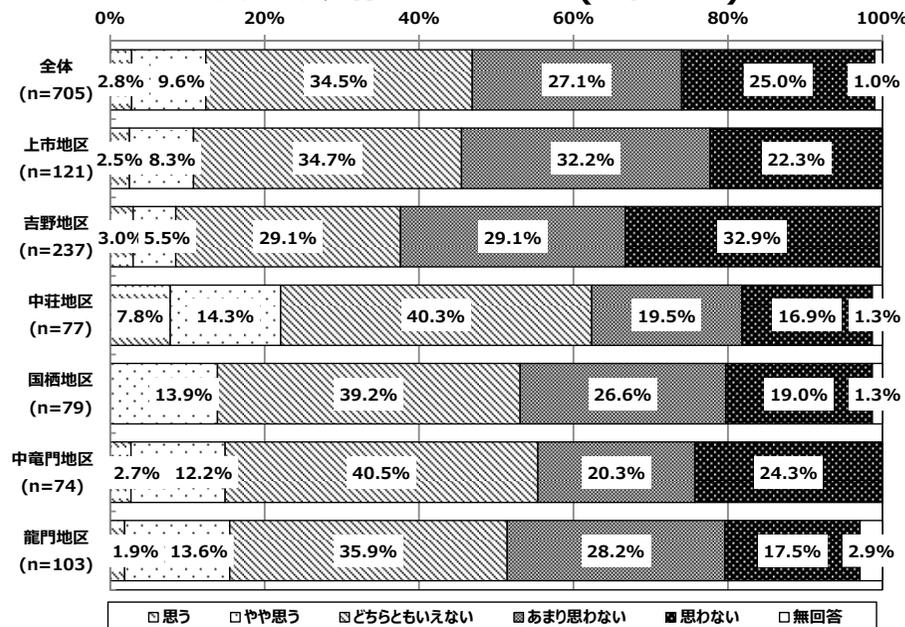
9.吉野町のまちづくり

設問文：吉野町のまちづくりにおいて、町民、議会、行政がそれぞれの役割と責務を認識し、連携・協力しながら取り組んでいると思いますか。

町民・議会・行政の役割分担(年齢別)



町民・議会・行政の役割分担(居住地別)

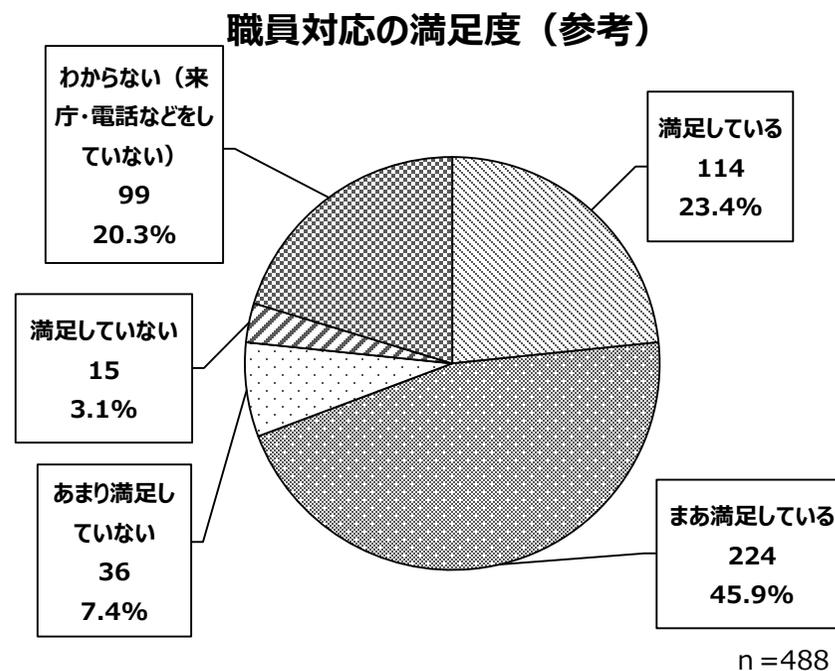
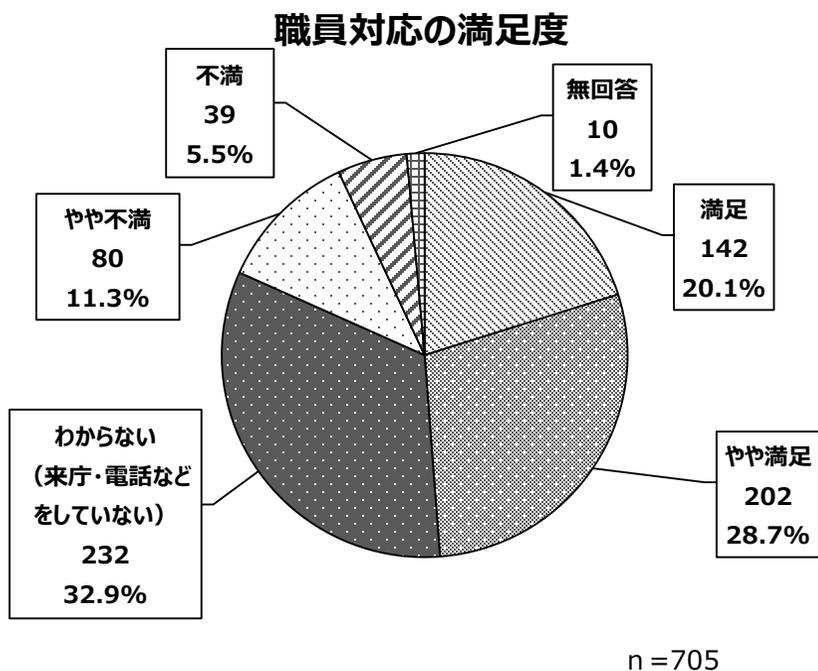


町民・議会・行政の役割分担についての結果(属性別)

- 年代別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した年代は、20歳未満が66.7%と最も多く、次いで40代が55.6%、50代が53.6%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は80歳以上が28.6%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した地域は、吉野地区が62.0%と最も多く、次いで上市地区が54.5%、龍門地区が45.7%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は中荘地区が22.1%と最も多くなっています。

10.行政の評価

設問文：この1年間で、役場への来庁時や電話による問い合わせ時などにおける職員の対応に満足していますか。



職員対応の満足度の結果

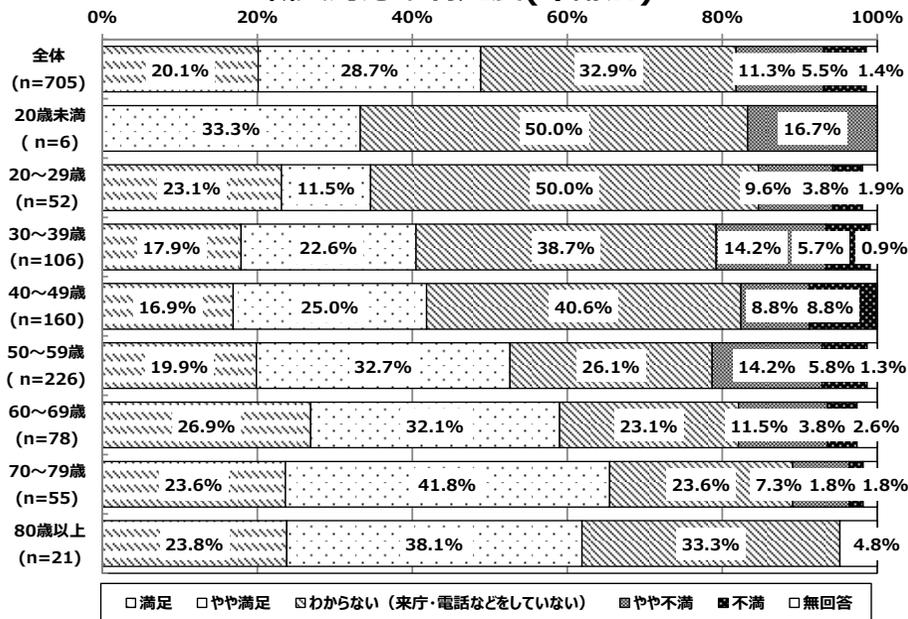
- 職員対応の満足度の結果、「満足」が20.1%、「やや満足」が28.7%となっており、全体の約5割が満足していると回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

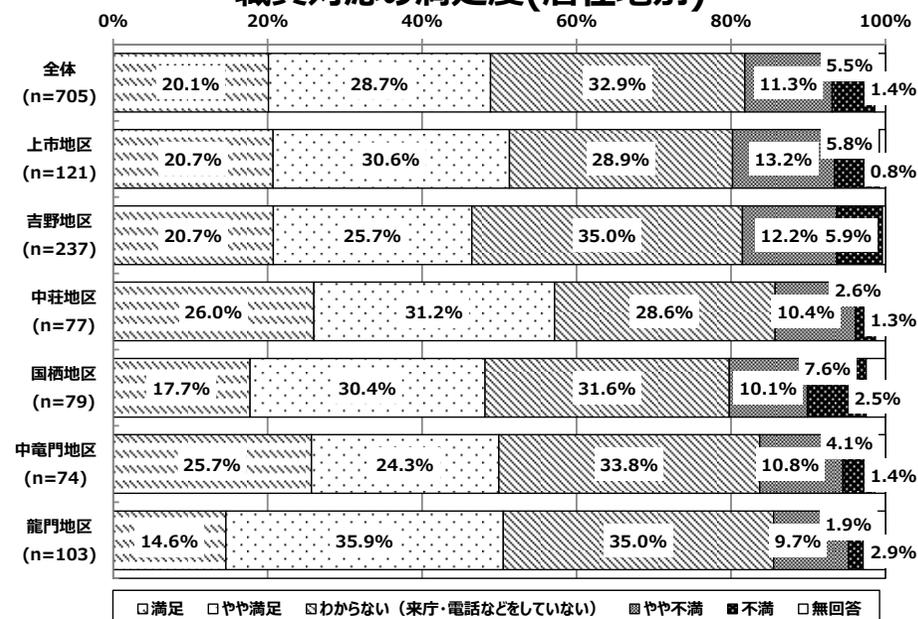
10.行政の評価

設問文：この1年間で、役場への来庁時や電話による問い合わせ時などにおける職員の対応に満足していますか。

職員対応の満足度(年齢別)



職員対応の満足度(居住地別)

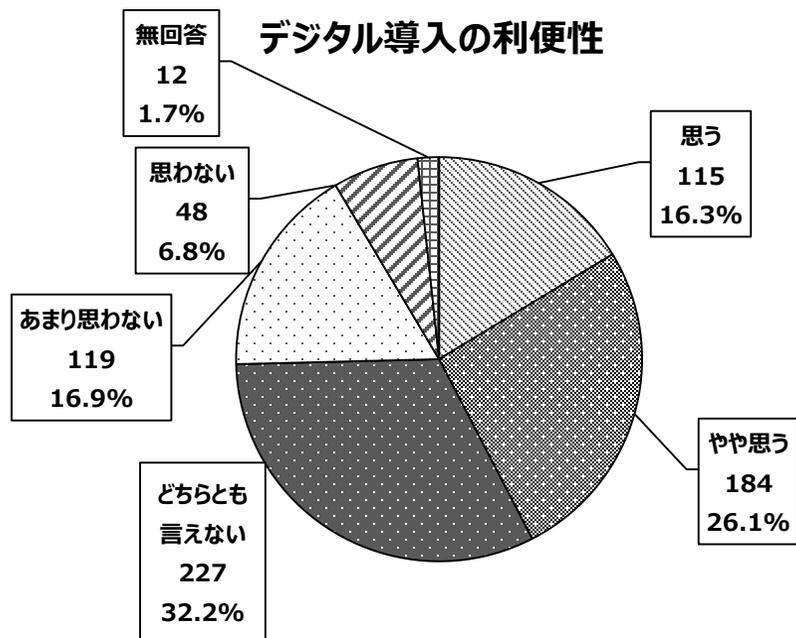


職員対応の満足度の結果(属性別)

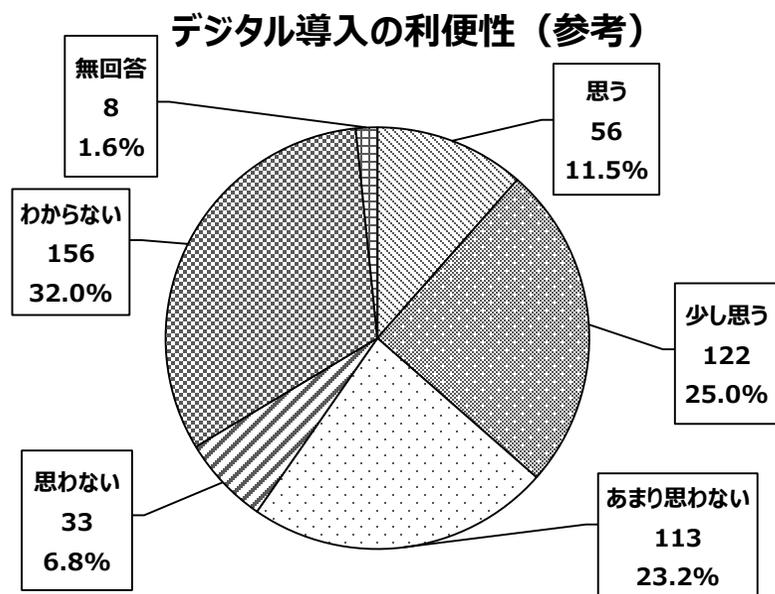
- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、70代が65.4%と最も多く、次いで80歳以上が61.9%、60代が59.0%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は全世代20.0%以下となっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、中荘地区が合計57.2%と最も多く、次いで上市地区が51.3%、龍門地区が50.5%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は全地域20.0%以下となっています。

10.行政の評価

設問文：役場での証明書交付や各種申請手続、行政情報の提供について、デジタル技術の導入により便利になっていると思いますか。



n = 705



n = 488

デジタル導入の利便性についての結果

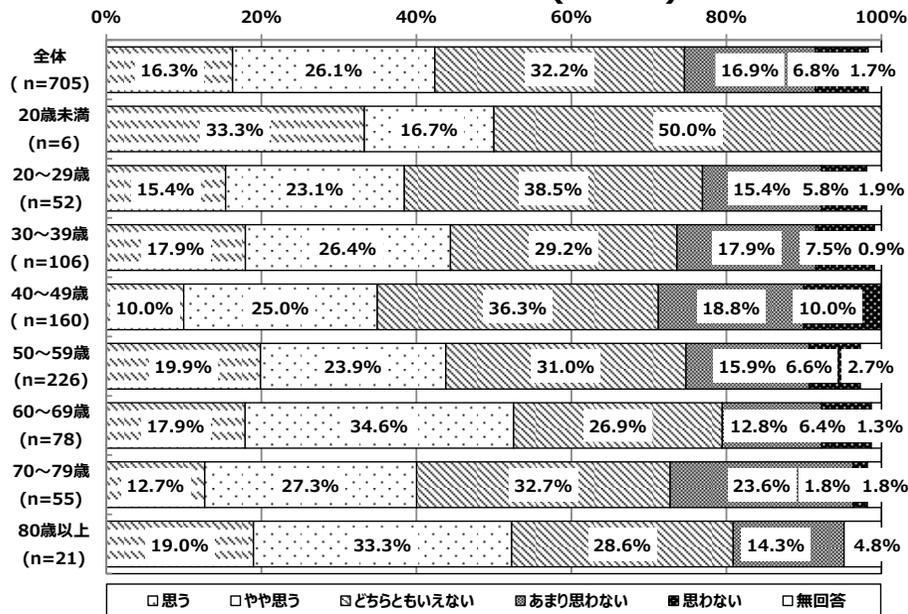
- デジタル導入の利便性について調査した結果、「思う」が16.3%、「やや思う」が26.1%となっており、全体の4割以上がデジタル導入による利便性があると回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

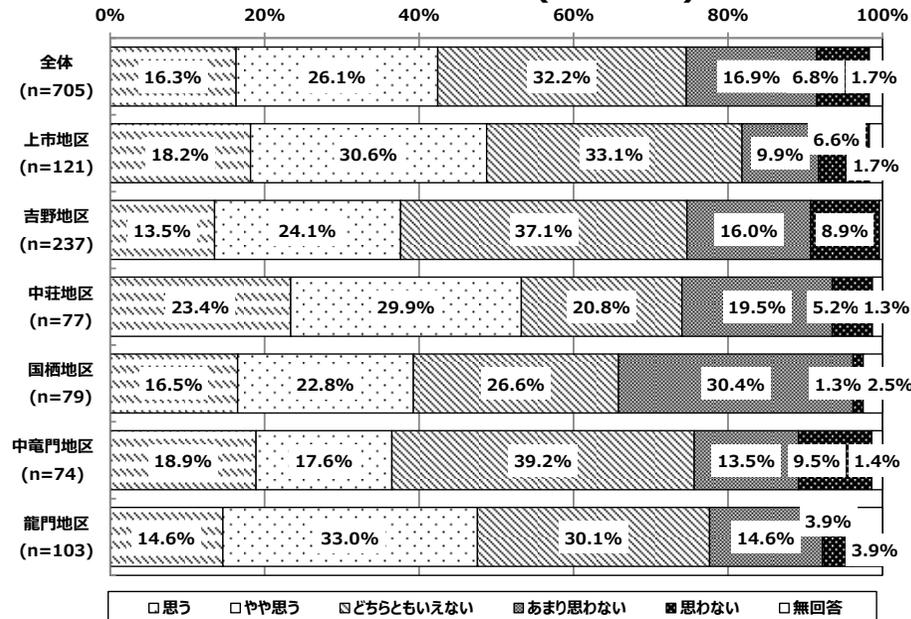
10.行政の評価

設問文：役場での証明書交付や各種申請手続、行政情報の提供について、デジタル技術の導入により便利になっていると思いますか。

デジタル導入の利便性(年齢別)



デジタル導入の利便性(居住地別)

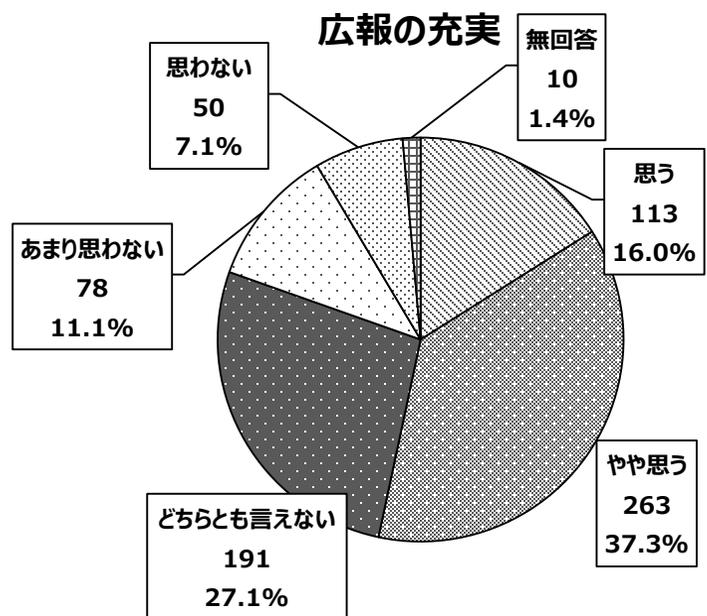


デジタル導入の利便性についての結果(属性別)

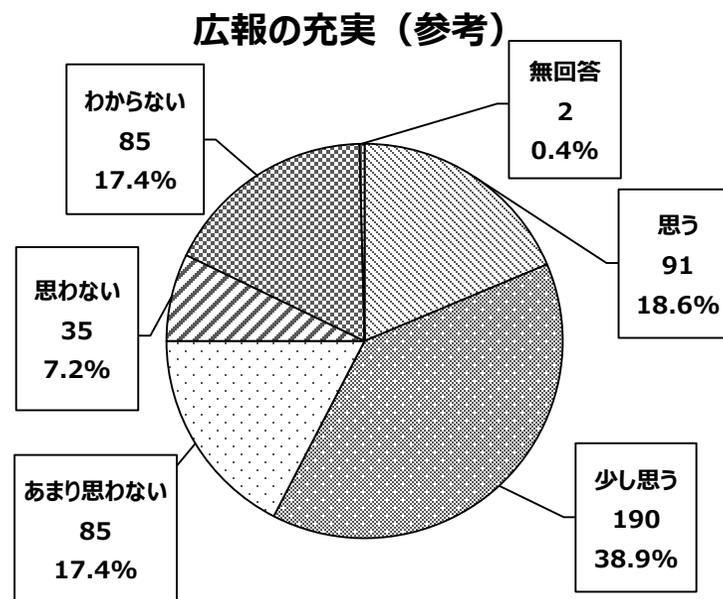
- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、60代が52.5%と最も多く、次いで80歳以上が52.3%、20歳未満が50.0%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は40代が28.8%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、中荘地区が53.3%と最も多く、次いで上市地区が48.8%、龍門地区が47.6%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は国栖地区が31.7%と最も多くなっています。

10.行政の評価

設問文：吉野町が発信している情報（広報、ホームページ、音声告知放送、文字ニュース、町公式LINEなど）について、ご自身が必要としている情報が届いていると思いますか。



n = 705



n = 488

広報の充実の結果

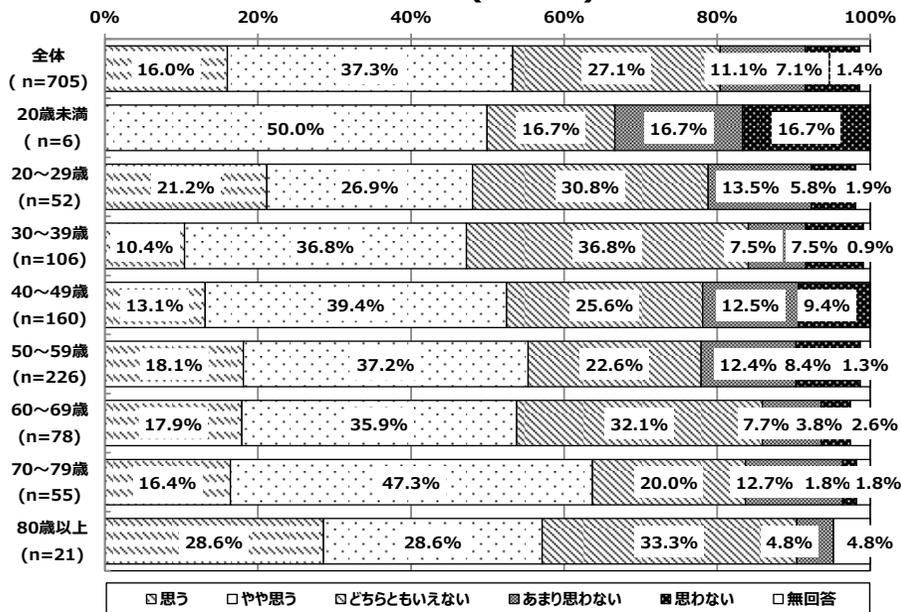
- 広報の充実について調査した結果、「思う」が16.0%、「やや思う」が37.3%となっており、全体の5割以上が情報が届いていると回答しています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

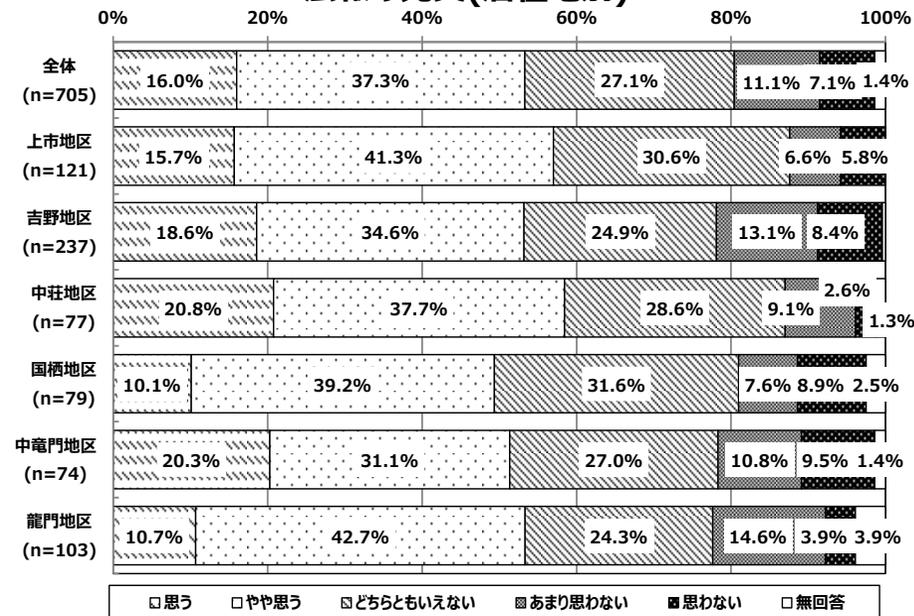
10.行政の評価

設問文：吉野町が発信している情報（広報、ホームページ、音声告知放送、文字ニュース、町公式LINEなど）について、ご自身が必要としている情報が届いていると思いますか。

広報の充実(年齢別)



広報の充実(居住地別)

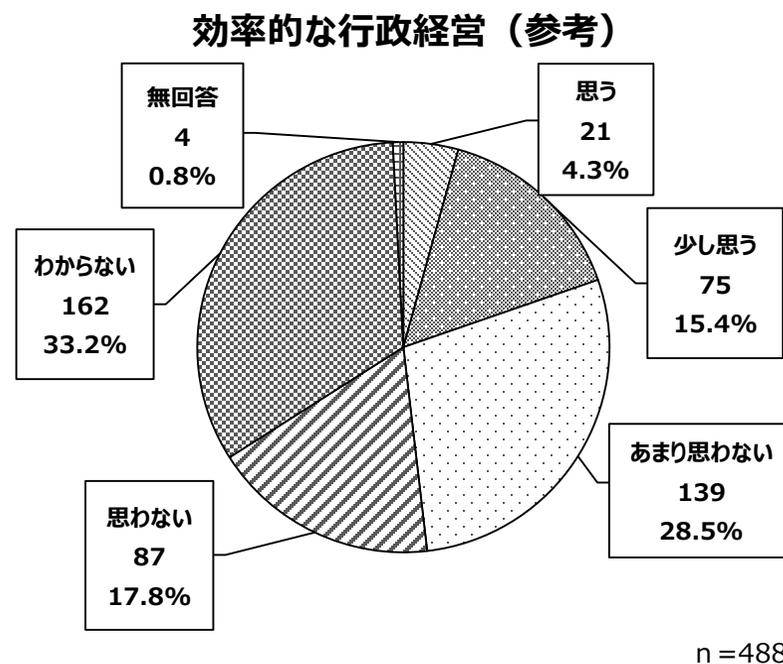
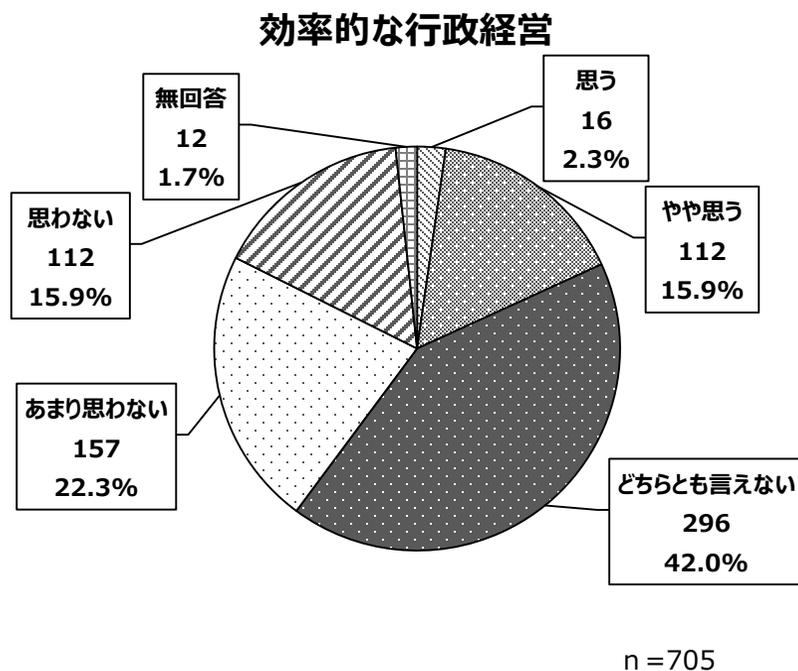


広報の充実の結果(属性別)

- 年代別にみると、「思う」「やや思う」と回答した年代は、70代が63.7%と最も多く、次いで80歳以上が57.2%、50代が55.3%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は20歳未満が33.4%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「思う」「やや思う」と回答した地域は、中荘地区が58.5%と最も多く、次いで上市地区が57.0%、龍門地区が53.4%となっています。一方で、「あまり思わない」「思わない」と回答した割合は吉野地区が21.5%と最も多くなっています。

10.行政の評価

設問文：吉野町は効果的で効率的な行政経営ができていますか。



効率的な行政経営の結果

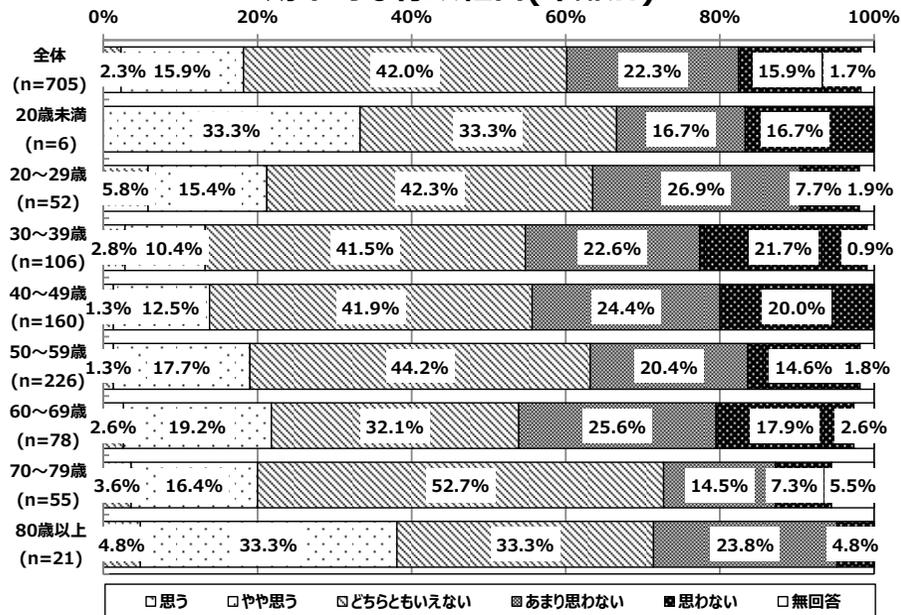
- 効率的な行政経営について調査した結果、「あまり思わない」が22.3%、「思わない」が15.9%となっており、全体の約4割以上を占めています。

※参考の令和3年度の調査では、選択肢は「思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5択となっています。

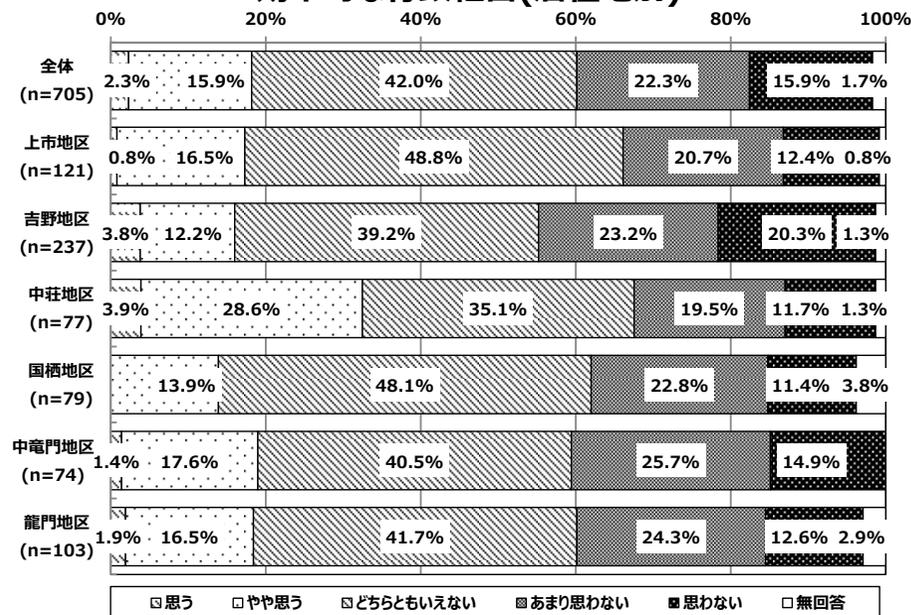
10.行政の評価

設問文：吉野町は効果的で効率的な行政経営ができていますか。

効率的な行政経営(年齢別)



効率的な行政経営(居住地別)



効率的な行政経営の結果(属性別)

- 年代別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した年代は、40代が44.4%と最も多く、次いで30代が44.3%、60代が43.5%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は80歳以上が38.1%と最も多くなっています。
- また、地域別にみると、「あまり思わない」「思わない」と回答した地域は、吉野地区が43.5%と最も多く、次いで中竜門地区が40.6%、龍門地区が36.9%となっています。一方で、「思う」「やや思う」と回答した割合は中荘地区が32.5%と最も多くなっています。

11. 今後のまちづくりに関するご意見等

設問文：今後、吉野町がめざすべきまちづくりのあり方などについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。

政策	基本施策	施策名	意見数		政策	基本施策	意見数			
【政策1】 ひと 人を育む 吉野町	【基本施策1】 子どもの教育・健全育成	子育て支援の充実	25	29	【政策3】 安心 安心できる 吉野町	【基本施策2】 防災・消防救急・防犯・安全	地域防災力の向上	5	8	
		学校教育の充実	2				消防・救急体制の充実	0		
		地域ぐるみの健全育成	2				交通安全・防犯対策の推進	3		
	【基本施策2】 社会教育・社会体育・人権	社会教育と生涯学習の推進	1	2		【基本施策3】都市基盤	安全で快適な道路・河川の整備	5	47	
		社会体育と生涯スポーツの推進	0				安全で安心な上下水道の整備	4		
		人権が尊重されるまちづくり	1				安全で快適な居住環境の整備	5		
	【基本施策3】 官民連携・人材育成	協働のまちづくりの推進	8	12	地域特性を活かした土地利用の推進		33			
		職員の人材育成	4							
	【政策2】 循環 循環と 発展を 目指す 吉野町	【基本施策1】 自然環境・廃棄物対策	自然環境及び生活環境の保全・保護	9	15		【政策4】 行財政 持続可能 な吉野町	【基本施策1】 行政		情報通信技術等を活用したデジタル化の推進
			一般廃棄物の適正な処理	6		財政健全化と行財政改革の推進			11	
【基本施策2】産業		農林漁業の振興	2	17	広報広聴の充実	19				
		商工業の振興	13		効果的で効率的な行政経営の推進	12				
		木材関連産業の振興	2							
【基本施策3】 観光・交流・文化財		魅力あふれる観光の振興	15	19	その他	-	9	116		
		世界遺産等文化財の保全と活用	4		特になし	-	6			
【基本施策4】 関係人口・移住定住・ 公共交通		関係人口の創出と移住定住の促進	19	56	アンケート全般	実施	8			
		利便性の高い公共交通システムの構築	37			対象者	3			
【政策3】 安心 安心できる 吉野町		【基本施策1】 健康・福祉・医療	健康づくりの推進	1		29	調査内容		3	
	地域医療の充実		6	設問数			0			
	高齢者の自立支援の推進		16	町政に意見、応援、挨拶	15					
	障がい者の自立支援の推進		2	職員対応（議員）	22					
	包括的で重層的な支援体制の構築		4	各施策に対する意見	16					
	社会保障制度の円滑な運営		0	町政	人口減少		33			